



履修マニュアル 2026



山梨英和大学

人間文化学部 人間文化学科 大学院 人間文化研究科臨床心理学専攻

対応カリキュラムについて

本学では毎年カリキュラムや履修上のルールについて点検評価を行ったり、開講科目の微調整を行っています。これに伴い入学年度ごとに以下のように対応カリキュラムや開講科目が異なります。学籍番号とカリキュラム・開講科目の対応は下の表のとおりです。

	1年生	2年生	3年生	4年生	開講科目一覧表 掲載ページ
2022 カリキュラム	26N				P. 36～P. 51
		25N・26N4	24N・26N5		P. 52～P. 67
				23N、22N 25N5、24N5	P. 68～P. 83
2020 カリキュラム				21N、20N 23N5	別途配付
2019 カリキュラム				19N	別途配付

※学籍番号と在籍学年が異なる場合は学籍番号にてご確認ください。

※該当する開講科目一覧表に記載のない科目は履修することができませんので注意してください。

履修マニュアル目次

1	教育課程	1
2	単位制度・進級要件・卒業	5
3	履修登録	7
4	授業	10
5	試験・レポート	13
6	成績・単位認定	15
7	科目別履修上の注意	19
8	専門プログラムの履修	21
8-1	公認心理師課程プログラムの履修	23
8-2	司書課程プログラムの履修	25
8-3	英語強化プログラムの履修	26
8-4	データサイエンスプログラムの履修	28
8-5	登録日本語教員養成（日本語教師養成）プログラムの履修	32
8-6	山梨地域コーディネーター養成プログラムの履修	35
付録	【2026年度1年生用】	
	開講科目一覧表	36
	公認心理師課程プログラム科目一覧表	43
	司書課程プログラム科目一覧表	44
	英語強化プログラム科目一覧表	45
	データサイエンス基礎プログラム科目一覧表	46
	データサイエンス応用プログラム科目一覧表	47
	登録日本語教員養成プログラム科目一覧表	48
	山梨地域コーディネーター養成プログラム科目一覧表	49
	履修登録上限対象外科目一覧表	50
	必修科目一覧表	51
	【2026年度2・3年生用】	
	開講科目一覧表	52
	公認心理師課程プログラム科目一覧表	59
	司書課程プログラム科目一覧表	60
	英語強化プログラム科目一覧表	61
	データサイエンスプログラム科目一覧表	62
	日本語教師養成プログラム科目一覧表	64
	山梨地域コーディネーター養成プログラム科目一覧表	65
	履修登録上限対象外科目一覧表	66
	必修科目一覧表	67

【2026 年度 4 年生用】

開講科目一覧表	68
公認心理師課程プログラム科目一覧表	76
司書課程プログラム科目一覧表	77
英語強化プログラム科目一覧表	78
データサイエンスプログラム科目一覧表	79
日本語教師養成プログラム科目一覧表	80
山梨地域コーディネーター養成プログラム科目一覧表	81
履修登録上限対象外科目一覧表	82
必修科目一覧表	83
履修モデル	84

1 教育課程

1 カリキュラム

カリキュラムとは、大学での教育目標を達成するために、順序立てて編成された教育内容とその履修計画を意味します。本学のカリキュラムには次の3種類の科目があります。

基礎科目	大学や社会で必要不可欠となる学びを提供する科目群
領域専門科目	人間文化学部がカバーする専門領域を学ぶ科目群
オープン科目	専門領域にとどまらず、より視野を広げるための科目群

人間文化学部がカバーする専門領域には次の3つがあります。このほかに、複数の領域にまたがる融合科目があります。

サイコロジカル・サービス	グローバル・スタディーズ	メディア・サイエンス
--------------	--------------	------------

2 科目区分

カリキュラムにあるすべての科目は、次のように分類されます。

必修科目	卒業するために必ず修得しなければならない科目
選択科目	卒業するために大学が定める科目の中から選択して修得しなければならない科目
選択必修科目	選択科目のうち指定された複数の科目から選択して修得しなければならない科目（ゼミ及び司書課程のみ）

各科目の区分については、開講科目一覧表（1年生：P. 36～P. 42、2・3年生：P. 52～P. 58、4年生：P. 68～P. 75）で確認してください。大学ではどの科目を履修するかは基本的にみなさんの自由ですが、**必修科目・選択必修科目は必ずその年次で修得するようにしてください。**

4年間に履修する科目の流れとしては、次のようになります。みなさんの興味や専門によって履修する科目が異なりますので、全員がこの流れになるということではありません。あくまでも標準的な流れと考えてください。

1年次	必修科目を中心に基礎科目を履修
2年次	必修科目と合わせ、領域科目を中心に履修
3・4年次	領域科目（融合科目を含む）やゼミを中心に履修

とくに1・2年次では必修科目の単位をすべて修得するように注意してください。必修科目を再履修する場合には、時間割の関係でその後の履修計画が大きく影響をうけます。なお、オープン科目は履修年次に応じて自由に履修できます。

自身の目指すものに応じてどのように科目を選択すればよいかを示した例を履修モデルといいます。履修モデルは巻末にありますので参考にしてください。また履修モデルは専門プログラムとも深く関わりがあります。「8 専門プログラムの履修」と合わせて読んでおいてください。

3 科目ナンバリング

科目ナンバリングとは、授業科目の内容・レベルに応じて特定のナンバリングコードを付与することによりカリキュラムの体系性を明示するしくみです。コードの意味は次のとおりです。

科目群（2ケタ）／履修年次（1ケタ）／授業形態（1ケタ）／識別番号（2ケタ）

科目群	基礎科目	BA
	サイコロジカル・サービス領域	PS
	グローバル・スタディーズ領域	GS
	メディア・サイエンス領域	MS
	ゼミ（卒業プロジェクト研究）	SE
	融合領域	IN
	オープン科目	OP
	司書課程	QL
	臨床心理学専攻	CP
履修年次	自由	0
	学部1年次	1
	学部2年次	2
	学部3年次	3
	学部4年次	4
	大学院M1	5
	大学院M2	6
授業形態	講義	0
	演習（講義・演習科目を含む）	1

	実験	2
	実習	3
	実技	4

例)「キリスト教概論 1」: ナンバリングコード BA1001

BA: 基礎科目群 / 1: 1年生用 / 0: 講義科目 / 01: 識別番号

4 クォーター制とセメスター制

多くの大学ではセメスター制を導入しています。セメスター制とは、1年を前期と後期にわけ、学期ごとに単位の認定を行う制度です。これに対し、本学では前期と後期をさらに2分割するクォーター制を導入しています。

クォーター制とは前期・後期の各セメスターをさらに2つに分け、1年を4学期とする制度です。科目によって以下のとおり授業の開講パターンが異なります。どの科目がどのパターンかは科目一覧表(P.36以下)の「期間」で分かります。

	開講期間	1週あたりの授業回数	開講週数	授業時間数
①	1Q	週1回	7	15
②	1Q	週2回	7	30
③	1Q	週1回 2時限連続	7	30
④	2Q(半期)	週1回	14	30
⑤	4Q(通年)	週1回	28	60

また、一部の科目では土曜日や長期休業期間中に開講する場合があります。これを集中講義といいます。集中講義の開講日は集中講義時間割で確認してください。(別途、ポータル配信及び掲示にてお知らせします。)

5 履修年次

難易度や専門性を考慮して、すべての科目に「履修年次」が割り当てられています。履修年次は「この科目は、その年次(学年)で履修することが望ましい」という基準となっているものです。自分の学年よりも上位の履修年次にある科目は履修できません。下位の履修年次にある科目は履修できます。

6 シラバス

どの科目を履修するかという判断材料の一つにシラバスがあります。シラバスは各科目の概要、授業計画、成績評価の方法、テキストなどをまとめたものです。また、科目によ

っては履修のための条件を課しているものもあります。科目を履修する前に必ずシラバスを読んでください。シラバスはWeb上で見ることができます。

7 カリキュラムマップ

キャンパスガイドに詳しく掲載していますが、本学のディプロマポリシー（学位授与方針）は下記のとおりです。

D1	人間文化学に関わる幅広い教養と体系的な知識を修得し、多面的・論理的な判断に基づいて課題解決に取り組むことができる
D2	他者を理解しながらさまざまな手段で自らの考えを表現し、円滑なコミュニケーションをはかることができる
D3	多様な文化や価値観を受け入れ、キリスト教教育によって培った倫理観をもって地域社会の発展に貢献できる

カリキュラムマップとは授業科目とディプロマポリシーの関係を示した表のことです。ディプロマポリシーに基づき、各科目が卒業までに身につけるべき能力のどの項目との関連するのかを示したものです。巻末の開講科目一覧表を確認してください。記号の意味は次のとおりです。

◎：深く関連している

○：関連している

－：上の二つと比較すると関連は弱い

2 単位制度・進級・卒業

1 単位制度

大学での学修はすべて単位制になっています。単位制とは、授業科目を履修して試験に合格することによって、授業科目ごとに指定された単位を修得する制度のことです。1単位の授業科目は45時間の学修をもって構成されます。基本的には以下の基準によって単位数を定めていますが、各科目の単位数については必ず一覧表やシラバスなどで確認してください。

科目の種類	授業時間数	単位数
講義・演習科目	15～30 時間	1 単位
実験・実習・実技科目	30～45 時間	1 単位

ただし、各科目の学修は授業時間だけでなく予習・復習の時間も必要となります。1学期（セメスター）に多くの科目を履修すると、それらの時間が確保できなくなります。そこで本学では1年間に履修登録できる単位数を制限しています（これをキャップ制といいます）。※[3 履修登録](#)（P.7）を参照してください。

2 進級要件

本学ではカリキュラム内容の修得を保証するため進級要件が設けられています。2年次終了時に以下の要件全てを満たしていない場合は、3年次へ進級することができません。（2年次転入学生対象外）4年間で卒業することができませんので十分に注意してください。（進級留め置きとなった場合、次回進級判定は1年後となります）

2年次終了時までには休学期間のある場合は、休学期間を除く在学期間が満2年を満たした時点で進級判定を行います。

- 進級要件
- （1）「基礎ゼミナール1,2」の単位を修得していること
 - （2）累計 GPA が1.0 以上であること
 - （3）卒業要件単位数における総取得単位数が44 単位以上であること
- ※累計 GPA 及び総取得単位数は卒業要件科目のみを対象とし、司書課程（卒業要件対象外）科目は除く

3 卒業要件

大学に一定期間以上在学し、すべての必修科目（40 単位）を含めた所定の単位以上を修得すれば、本学を卒業し、学士（人間文化）の学位を取得することができます。在学の期間や必要な単位数・条件については次の表のとおりです。

入学種別	在学年数	修得単位
1 年次入学生	4 年以上	124 単位以上
2 年次転入学生	3 年以上	*92~102 単位以上
3 年次転入学生	2 年以上	*62~78 単位以上
3 年次編入学生	2 年以上	62 単位以上

※転入学の場合は本学入学時に認定される単位数によって条件が異なります。

※必修科目については巻末の必修科目一覧表をご確認ください。

4 9 月卒業

在学年数の条件を満たさず段階になっても修得単位不足のために卒業延期になった場合に、翌年度の前期で修得単位の条件を満たせば、翌年度の 9 月に卒業することができます。

なお、9 月卒業を希望する場合は通年講義・集中講義を履修することはできません。

5 卒業延期制度

学則に定める卒業の要件を満たす学生が引き続き在学することを希望する場合、卒業を延期し在学することを認める制度（留学生は除く）です。申請が可能な許可理由は以下のとおりです。

- (1) 資格取得における単位の取得等で引き続き修学を継続する場合
- (2) 企業等への就職活動等を引き続き継続する場合
- (3) 留学する場合

申請資格・延長期間・手続き方法等の詳細は、「卒業延期制度要項」にて定められています。卒業までの履修スケジュールを事前に確認する必要がありますので、希望者は早めに教務部へお問い合わせください。

3 履修登録

1 履修登録

履修登録とは、定められた期間に各自が履修しようとする科目を登録することです。履修登録を行わなかった場合は単位が認定されませんので、必ず履修登録を行ってください。また、卒業までに履修登録する総単位数は卒業要件を十分に満たすよう、余裕を持たせるようにしてください。

なお、履修登録は前期と後期の始めに行います。履修登録期間については学年暦を確認してください。

履修登録期間	登録対象科目
第1Q（前期）	第1Q・第2Q・前期・通年開講科目
第3Q（後期）	第3Q・第4Q・後期開講科目

※第2Q、第4Q開始時に履修修正期間を設けますが、登録科目の変更（同じ単位数分の変更のみ）および削除が可能です。（科目の追加はできません）

2 履修登録の上限（キャップ制）

大学での学修成果を積み上げていくためには、在学期間中にバランスよく履修することが必要です。本学では前期と後期にそれぞれ履修登録できる単位数が成績（GPA）に応じて次のように定められています。GPAについては、**6 成績・単位認定**（P.15）を参照してください。

前学期（半期）GPA	学期（半期）登録上限単位数
4.0 以上	22
1.5 以上 4.0 未満	20（基準値）
1.5 未満	18

※新入学生の前期については基準値を適用します。

※各学期ごとの GPA に応じて次学期の登録上限単位数が決まります。

※他大学の単位互換科目を登録する場合も年間の登録上限に含みますので注意してください。

※海外留学等により前学期 GPA がいない場合は、出発直前の GPA を適用します。休学等やむを得ない事由により前学期のすべての授業科目を履修できなかった場合は基準値を適用します。

また、一部の科目には履修登録の上限に含まれないものがあります。具体的な科目については巻末の開講科目一覧表で確認してください。

1. 卒業要件に含まれない資格課程等の科目
2. 卒業要件に含まれるが、学外実習などを主とする集中講義科目

3 履修登録の方法とキャンパスプラン

履修登録はキャンパスプランとよばれる Web システムを使って行います。キャンパスプランによる履修登録の方法については別途配布のキャンパスプランマニュアルを参考にしてください。履修登録情報は必ず各自が確認し、手元に時間割表を保存してください。

なお、キャンパスプランは大学の掲示板と同じような役割を果たします。大学の掲示板と同様、キャンパスプランにアクセスして情報をこまめにチェックするようにしてください。キャンパスプランの見落としによって受けた不利益は、みなさんの責任になります。

4 人数制限科目の履修

本学の開講科目には、教室や授業内容の形態により履修者の人数を制限しているものがあります。これを人数制限科目とよんでいます。巻末にある開講科目一覧表の人数制限の欄に数字が入っているものが人数制限科目です。人数制限科目の履修を希望する学生は履修登録の前にエントリーを行う必要があります。エントリーは前期・後期それぞれ行いますが、期間については別途周知します。また、人数制限科目のエントリー方法は科目によって異なり以下の2通りがあります。

1. キャンパスプラン上での Web エントリー
2. エントリー用紙に記入（または Google Form へ回答）してのエントリー

オリエンテーションでの説明や掲示板に注意して見落としのないようにしてください。Web エントリーの場合の手順については別冊子のマニュアルを参考にしてください。

制限を超えたエントリーがあった場合には、抽選を行います。抽選の結果はキャンパスプラン上で確認できますので、自分がエントリーをした科目は必ず結果を確認してください（一部の科目は掲示での発表となります）。人数制限科目の履修取り止めや履修中止申請は出来ませんので注意してください。

5 履修中止

定められた期間内に履修中止申請を行った科目については、履修を中止することができます（時間割表から削除するのではなく、最終評価を W：履修中止と表示します）。ただし理由や申請時期によっては履修中止を認めないことがあり、人数制限科目は申請できません。また、中止後に他の科目を追加して登録をすることはできません。対象科目や申請期間等の詳細は学年暦および掲示板を確認してください。

※履修中止した科目（評価：W）は GPA の計算対象には含みません。

なお、夏期集中講義については、第 2 クォーター受付期間終了後から集中講義開始までの期間に以下の理由により授業への出席ができない場合に限り履修中止にて対応します。

- ①公認欠席に該当する理由の場合（法定伝染病、採用試験、実習、忌引、大学院入試等）
- ②病気や怪我により該当集中講義の全ての日程が受講できない場合

4 授業

1 時間割

授業は月曜日から金曜日まで、以下の時間帯で開講されます。

※1 時限 95 分

時限	時間帯		
	通常授業	土曜日・集中講義	キリスト教教育週間
1 時限	9:00～10:35	9:00～10:35	9:00～10:25 (平常より10分早く終了)
チャペルアワー*	10:40～11:00		10:30～11:10 (全学チャペル)
2 時限	11:05～12:40	10:45～12:20	11:15～12:40 (平常より10分遅く開始)
3 時限	13:30～15:05	13:10～14:45	13:30～15:05
4 時限	15:15～16:50	14:55～16:30	15:15～16:50
5 時限	17:00～18:35	16:40～18:15	17:00～18:35

* チャペルアワーについてはキャンパスガイドで確認してください。

また、授業回数調整のため、一部の日で別の曜日の授業時間割となることがあります。学年暦や掲示板等を確認してください。

2 休講・補講

担当教員の公務、出張、病欠などにより授業が休講となることがあります。休講情報についてはキャンパスプランや掲示板で確認してください。

休講となった授業科目は原則として、補講（振替授業）を行います。補講の実施日時、場所についてはキャンパスプランや掲示板で確認してください。

交通機関がストライキ、自然災害により運休した場合又は甲府市に特別警報が発表された場合は、本学の授業等を次の各号に掲げる基準により、キャンパスプラン、大学ホームページ等に告知し、休講とします。

(1) JR（中央本線新宿－小淵沢間、身延線甲府－十島間）、私鉄（富士急行線大月－富士山間）、山梨交通県内路線バス及び富士急行県内路線バスともに運休となった場合又は甲府市に特別警報が発表された場合は、終日休講とする。

(2) 前項に規定する運休又は警報が解除されたときは、次のとおり授業を開始する。

① 特別警報が発表された場合

午前7時までいずれか一つの交通機関の運休が解除され、かつ、特別警報が解除

されたときは、1時限を休講とし2時限から開始し、午前11時までにされたときは、1時限及び2時限を休講とし、3時限から開始する。

② 特別警報が発表されない場合

午前7時までにいずれか一つの交通機関の運休が解除されたときは、1時限を休講とし、2時限から開始し、午前11時までにされたときは、1時限及び2時限を休講とし、3時限から開始する。

(3) JR（中央本線新宿－小淵沢間、身延線甲府－十島間）、私鉄（富士急行線大月－富士山間）、山梨交通県内路線バス又は富士急行県内路線バスのいずれかが午前7時現在で運休となっている場合は、1時限を休講とし、2時限から開始する。

(4) 学長は講義中等に前各号に規定する交通又は気象の状況となったとき又は見込まれるときは、直ちに講義等を中止又は休講とし、退校・帰宅を命ずることができるものとする。

3 閉講

履修登録による集計の結果、履修者数が以下の基準に満たない場合は閉講とします。閉講した科目を履修していた学生については、別の科目を履修登録できるよう手続きを行いますので、掲示板およびポータルサイトで確認してください。なお、必修科目、ゼミ科目や資格課程科目など個別の理由により、基準を満たさなくても開講することがあります。

講義科目	6名未満
講義・演習科目 演習科目 実習科目 実技科目	3名未満

4 教室・担当者の変更

やむを得ない事情により、学期の途中で教室や担当者を変更することがあります。変更する場合は掲示板およびポータルサイトで連絡をしますので、見落とさないように注意してください。

5 欠席・公認欠席

病気やけがなどで1週間以上の欠席をした場合は欠席届（診断書などの証明書を添付す

ること)を提出してください。ただし、欠席についての取り扱いは担当教員の判断によりますので、欠席届を提出したからといって出席回数が必要考慮されるということではありません。

また、公認欠席(公欠)が認められる対象についてはキャンパスガイドを参照してください。公欠の場合は所定の手続きをとることにより欠席の扱いにはなりません。

6 授業実施方法

授業は下記のいずれかの方法で実施します。実施の形態は授業ごとに固定することを原則としますが、授業の内容や状況によって変更することがあります。

対面授業	教室で実施します
リアルタイム授業	ウェブ会議システムを使って、双方向でのオンライン授業を実施します
オンデマンド授業	配信された解説動画や資料を視聴し、授業時間内に課題に取り組みます
ハイフレックス授業	対面授業とリアルタイム授業を同時に行います(学生はどちらかの方法で授業を受けます)

いずれの形式であってもほぼすべての授業で Google Classroom という LMS (学習管理システム) を使います。またリアルタイム授業では Google Meet というシステムを主に使います。

5 試験・レポート

1 試験の種類

試験の種類は次のとおりです。

期末試験	学期末に行われる試験
追試験	疾病などのやむを得ない理由で期末試験を受けることができなかった学生に対して行う試験

科目によっては中間試験・再試験などが行われる場合があります。また、試験の代わりにレポートが課される場合もあります。担当教員の指示にしたがってください。

2 受験の条件

以下の条件をすべて満たしている場合に試験を受けることができます。

1. 履修登録をした科目であること
2. その科目の出席回数がおおむね全体の3分の2以上であること

3 受験上の注意

試験を受けるときには、次のことに十分注意してください。

1. 監督者の指示にしたがってください。
2. 学生証を机の上に置いてください。学生証がない場合は受験できませんので、ただちに仮学生証の発行（発行手数料 200 円：当日限り有効）を受けてください。
3. 持ち込みを許可されたもの以外はすべてカバンなどにしまってください。
4. 電子機器（携帯電話や端末など）は、必ず電源を切ってカバンなどにしまってください。これらを時計として使用することはできません。
5. 試験中の物の貸し借りや私語は禁止します。
6. 解答用紙は必ず学籍番号と氏名を書いて提出してください。
7. 試験開始後 30 分をこえて遅刻した場合は受験できません。
8. 試験開始後 30 分までは退室できません。

以上のことを守らない場合は不正行為となり、成績の無効や停学などの懲戒処分の対象となります。仮にそうでなくても不正行為ではないかと疑われるような行動はトラブルのもととなりますので、十分注意してください。

4 追試験

追試を希望する場合は、必ず試験開始時限前までに、教務部へ連絡し指示に従ってください。試験開始時限前までに申し出のない追試申請は受付できません。

期末試験をやむを得ない理由で受験できなかった場合、その科目の試験が行われてから7日以内（就職試験のみ試験の2日前まで）に追試験受験願（様式あり）と受験料1,000円を提出し手続きしてください。追試験受験を申請できる理由は次のとおりです。証明書類を必ず一緒に提出してください。

欠席理由	必要書類
①就職試験	採用試験を実施した機関（企業・団体等）の証明を受け、窓口で認印を受けたもの
②学外実習（受験料不要）	実習を証明する文書または書類
③忌引（3親等まで）	会葬礼状等（葬儀日程等が確認できる印刷物）
④自然災害	理由を証明する文書または書類
⑤公共交通機関の遅延	遅延証明書（駅等で発行）
⑥病気または負傷	医療機関発行の診断書
⑦交通事故	事故証明書
⑧その他	教務部長が必要と認めた書類

追試験の評価は通常の試験と同じです。また、追試験を欠席した場合の再度の追試験はありません。

5 試験代行レポート

レポートのうち、試験の代わりに課されるものを試験代行レポートとよびます。**試験代行レポートは指定された方法で本人が提出しなければなりません**が、レポート作成についてはすべて**担当教員の指示にしたがってください**。

なお、以下の行為は不正行為となり成績の無効や停学などの懲戒処分の対象となります。

- ・ 剽窃（ひょうせつ）、盗用、コピーペースト。
- ・ 他人が作成したレポートを自分の作成物として提出すること。
- ・ 他人の代わりにレポートを作成すること。

6 成績・単位認定

1 成績の種類

成績は 100 点満点で、60 点以上が合格となります。評価基準は次のとおりです。

判定	評価 (レターグレード)	点数	評価基準
合格	A	90～100 点	到達目標を十分に達成しており、きわめて優秀な成果をおさめている
	B	80～ 89 点	到達目標を十分に達成している
	C	70～ 79 点	到達目標を標準レベルで達成している
	D	60～ 69 点	到達目標を最低限達成している
不合格	F	0～ 59 点	到達目標を達成できていない
	W	履修中止	—

2 グレードポイントと GPA

GP (グレードポイント) とは「その科目をどのくらい優秀な成績で合格したか」を数値化したものです。GP は素点 score をもとに次の式で算出します。

$$GP = \frac{\text{score} - 50}{10}$$

ただし、不合格 (F 判定) の場合はすべて GP=0 とします。

また GPA (グレードポイントアベレージ) とは、履修した科目の GP に単位数をかけた値の合計を総登録単位数で割ったものです。GPA は 5.0～0.0 の間で算出されます。値が大きいほど優秀な成績であることを表します。

$$GPA = \frac{(\text{GP} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{総登録単位数}}$$

F 判定の科目は GP=0 となり、GPA の計算にも使われます。同じ科目を翌年度履修して合格しても、F 判定の履歴は残り、新たな成績とともに GPA の計算に使われます。したがって履修した科目は不合格にならないよう、計画的な履修をするとともに、日々の学修をおこなわないようにしてください。

GPAは特待生審査など学内でのさまざまな選考に使われます。なお、履修を中止した科目(W)、「認定」評価、司書課程(卒業要件対象外)科目はGPAの計算対象とはなりません。

3 成績発表

各科目の成績発表は、各クォーター・期末ごとにキャンパスプランで確認できるほか、保護者あてに郵送(前期末・後期末)します。評価はレターグレードおよび素点で開示します。一度合格した科目は、いかなる理由があっても再度履修することはできません。なお、成績証明書には合格した科目とその評価及び累計GPAを記載します。

4 成績評価についての異議申し立て

自己評価と成績評価との間に大きな開きがあり、明らかに評価の誤りであると思われるものについて、異議を申し立てることができます。ただし、以下の条件をすべて満たしている場合に限ります。申請する場合は所定の様式を指定された期間内に教務部へ提出してください。なお、申請時に内容についての聞き取りを行います(聞き取りの内容によっては申し立てを受理しないことがあります)。

- (1) 履修登録をしていること
- (2) 授業の欠席回数が、全体の3分の1未満であること
- (3) 授業中に課せられたレポートや小テスト等をすべて提出していること
- (4) 授業内試験がある場合は受験していること

5 成績指導について

修業年限(4年)での卒業が困難となる場合は、アドバイザー面談により成績指導を行います。半期ごとに以下の基準にてGPA及び総修得単位数の両方を確認し、両方の数値が下回る場合は成績指導の対象となります。また、複数回の指導を受けても改善がみられない場合や面談に応じない場合は保護者を交えた三者面談を行います。

学期GPA値 1.5未満

修得単位数 1年次(前期:15未満、後期:30未満)
2年次(前期:45未満、後期:60未満)
3年次(前期:75未満、後期:90未満)
4年次(前期:105未満、後期:120未満)

6 単位の認定

単位の認定は前期末（第 2 クォーター終了後）と後期末（第 4 クォーター終了後）に行います。GPA の計算も同様に年 2 回とします。

7 資格取得等による単位認定

外部の各種検定試験に合格し、希望する場合、その合格結果を本学の卒業単位として認定する制度があります。認定を希望する場合は、指定された期限までに所定の様式に必要事項を記入し、その検定に合格したことを証明する書類（コピー）を添えて、教務部に提出してください。認定された科目は単位のみが与えられ、成績評価はつきません。また履修登録単位数の上限にも含めません。

また、資格等特待生制度に基づき入学前に申請し許可となった資格についても、入学後に再度単位認定申請することで卒業単位として認定することができます。

単位認定を受けられる資格、条件、単位数は表のとおりです。

区分	認定機関	資格等の名称および級位	認定単位
英語	(財) 日本英語検定協会	実用英語技能検定準 1 級	いずれかで 4 ※
		IELTS 5.5 以上	
		TEAP 334 点以上	
	TOEIC	TOEIC 740 点以上	
	TOEFL	TOEFL iBT 74 点以上	
	(財) 日本英語検定協会	実用英語技能検定 2 級	
IELTS 4.5 以上			
TEAP 300 点以上			
TOEIC		TOEIC 550 点以上	
TOEFL	TOEFL iBT 42 点以上		
中国語	中国国家漢語国際推進事務室	HSK (漢語水平考試) 5 級	4 ※
		HSK (漢語水平考試) 4 級	2
韓国語	韓国教育省国立国際教育院	TOPIK (韓国語能力試験) 4 級	4 ※
		TOPIK (韓国語能力試験) 3 級	2
ドイツ語	(財) ドイツ語文学振興会	ドイツ語技能検定 2 級	4 ※
		ドイツ語技能検定 3 級	2 ※
		ドイツ語技能検定 4 級	1
フランス語	(財) フランス語教育振興会	実用フランス語技能検定準 2 級	4 ※
		実用フランス語技能検定 3 級	2 ※
		実用フランス語技能検定 4 級	1

統計学	(一社) 日本統計学会	統計検定準 1 級	4 ※
		統計検定 2 級	2 ※
		統計検定 3 級	1
簿記	日本商工会議所	簿記検定 2 級	4 ※
		簿記検定 3 級	2
経営学	(一社) 日本経営協会	マネジメント検定Ⅱ級 (旧経営学検定)	4 ※
		マネジメント検定Ⅲ級 (旧経営学検定)	2
数学	(財) 日本数学検定協会	実用数学技能検定 1 級	4 ※
		実用数学技能検定準 1 級	2 ※
		実用数学技能検定 2 級	1
ICT	(独) 情報処理推進機構	応用情報技術者	6 ※
		基本情報技術者	4 ※
		IT パスポート	2
	ICT プロフィシエンシー検 定協会	P 検 3 級	1
		CG-ARTS 協会	マルチメディア検定エキスパート
	CG-ARTS 協会	Web デザイナー検定エキスパート	1
		CG エンジニア検定エキスパート	1
CG クリエイター検定エキスパート		1	
その他	知的財産教育協会	知的財産管理技能検定 3 級	2

※同一の小区分における下位の資格ですすでに単位認定を受けた場合は、その差分となる単位数を新たに認定することとする。

7 科目別履修上の注意

1 必修科目のクラス

同一の科目で複数クラス開講される場合があります。そのうち、必修科目のクラスについては学籍番号やクラス分けテストの結果に基づいて行いますので、必ずそのクラス（キャンパスプラン上ではすでに登録されています）で履修してください。

<再履修する場合>

必修科目を修得できなかった場合は翌年度に再履修する必要があります。科目によって履修するクラスを指定する場合がありますので、教務部の指示に従ってください。

2 語学科目

基礎科目のうちの語学科目は、その言語を母語とする学生の履修を認めないものがあります。科目を選択するときには注意してください。

中国語 1～4	韓国語 1～4	日本語 1～3
ドイツ語 1・2	フランス語 1・2	

3 日本語学関連科目

次の科目は「日本語」という名前がついていますが、専門性の高い科目です。日本語教員養成課程を履修するなどの高い意識を持つ学生を対象としています。

日本語教授法 1・2	日本語教育概論	日本語教授法演習（実習含む）
------------	---------	----------------

4 ゼミナールの履修について

ゼミナール（ゼミ）は、大学での教育の中心となる科目です。ゼミでは少人数形式で教員の指導を受けながら、学生が主体的に学修や研究活動を進めていきます。本学では各学年にゼミ形式の授業を設けています。

1年次	基礎ゼミナール（必修）	大学での学びのしくみを知り、大学で学ぶための基本的なスキルの習得を目指します
-----	-------------	--

2 年次	領域導入ゼミナール(選択)	専門領域に関わる基本的な知識や技術をゼミ形式で学べます
3 年次	領域専門ゼミナール(選択必修)	これまでの専門の学びを土台として、さらに専門の学びをゼミ形式で深めます
4 年次	卒業プロジェクト研究(選択必修)	主に専門ゼミナールでの学びを土台として研究活動を行い、4 年間の学修活動の成果を出します

このうち、2 年次の領域導入ゼミは選択科目です。1 年次終了時点で何を専門に学びたいのか見通しを立てられた人は積極的に履修しましょう（ただし、人数制限がありますので履修できないことがあります。仮に履修ができなくても専門ゼミナール等への履修には影響しません）。2 年次の時点でどの領域を専門に学びたいか悩んでいる人などは無理に履修せず、各領域の専門科目を学びながら考えていくとよいでしょう。

3 年次の専門ゼミナール履修にあわせて、2 年次後期に専門ゼミ希望調査を行います。どの領域での学びを積み上げていくか、2 年次の前期から計画的に履修するようにしてください（ゼミごとに定められた要件を満たしていない場合、希望するゼミに受け入れてもらえないことがあります）。

卒業するためにはゼミ区分（3 年次の専門ゼミと 4 年次の卒業プロジェクト研究）から合わせて 6 単位以上を修得しなければなりません。1 つのゼミで専門ゼミと卒業プロジェクト研究を履修する、2 つの領域の専門ゼミを履修するなどの組合せが考えられます。どのように組み合わせて履修するのか 2 年次の段階から前もって履修計画を立てましょう。

なお、長期の海外留学に参加する場合は、留学期間を除いてゼミ区分の必要単位を取得するよう計画する必要があります。海外留学を検討する場合は事前に教務部へご相談ください。

5 その他

履修にあたっては、まずシラバスを読んでから 1 回目の講義に出席してください。シラバスには「履修上の注意」や「関連科目・前提科目」（その科目を履修するうえで事前に履修していることが望ましい科目）が書かれています。**シラバスに書かれている条件を満たしていない科目は原則として履修しないようにしてください。**

8 専門プログラムの履修

1 専門プログラムについて

本学人間文化学部は幅広い学問領域をカバーしていることが大きな特徴です。その上で専門性を深めていくことでより大きな学修成果を得ることができます。その方法の一つは、特定の領域の専門科目を中心に履修することです。もちろんそれでも大きな学修成果を得ることができますが、大学での学びを資格取得などにつなげていくことで成果をより高めることができるでしょう。

そこで人間文化学部に6つの専門プログラム（以下、プログラム）を設けました。大学で学びたいことや卒業後の目標に合わせてプログラムを選択し、各プログラムに定められた修了要件を満たすことで、卒業時に「プログラム修了証」が授与されます。プログラムに指定されている科目は司書課程プログラムの一部を除いて卒業要件単位に加えることができます。プログラムを積極的に履修し、大学での学修成果をより高めていくことをおすすめします。

なお、各プログラムは2年次転入、3年次編入学生も履修可能です。ただし、プログラムにより前提条件等が異なりますので詳細は教務部へお問い合わせください。

2 各プログラムの修了条件

各プログラムの修了要件単位数を修得の上、卒業時に授与されます。

プログラム名	開講総単位数	修了要件単位数	受講料有無	申請時期
公認心理師課程プログラム	57 単位	57 単位	4 年次実習料	2 年次 4 月
司書課程プログラム	26 単位	24 単位	有り	2 年次 4 月
英語強化プログラム	30 単位	28 単位	無し	2 年次 4 月
データサイエンスプログラム（2023 年度入学生まで対象）	30 単位	14 単位	無し	1 年次 9 月
データサイエンス基礎プログラム（2024 年度入学生から対象）※編转入生対象外	6 単位	6 単位	無し	申請不要 ※1 年次入学生は 全学生対象
データサイエンス応用プログラム（2024～2025 年度入学生対象）	20 単位	14 単位	無し	1 年次 9 月
データサイエンス応用プログラム（2026 年度入学生から対象）	12 単位	12 単位	無し	1 年次 9 月

日本語教師養成プログラム (2025 年度入学生まで対象)	48 単位	26 単位	無し	2 年次 4 月
登録日本語教員養成プログラム (2026 年度入学生から対象) ※国家資格対応	30 単位	30 単位	実習料のみ	2 年次 4 月
山梨地域コーディネーター 養成プログラム	46 単位 ※単位互換科目含む	20 単位	無し	2 年次 4 月

3 履修方法

各プログラムの履修を希望する場合は該当する申請時期に Web システム上にて、プログラム履修申請をする必要があります。なお、各プログラムを途中辞退する場合は必ず教務部へ申し出てください。

科目のリストは巻末の各プログラム科目一覧表（1 年生：P. 43～P. 49、2・3 年生：P. 59～P. 65、4 年生：P. 76～P. 81）で確認してください。

8-1 公認心理師課程プログラムの履修

1 プログラムの概要

公認心理師課程とは、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、心理支援や心理状態の観察や結果の分析、心理支援を必要とする人やその関係者への相談・助言・指導など援助行為を行い、心の健康教育などを行う公認心理師（国家資格）を養成するために開設するものです。公認心理師科目を修めて卒業し、卒業後に定められた施設において一定期間実務に従事するあるいは大学院に進学し、公認心理師カリキュラムを修めることで、公認心理師国家試験の受験資格が与えられます。この課程を修了しただけで公認心理師の資格が与えられるわけではありません。

公認心理師を目指す人が、将来保健医療・福祉・教育の分野などで活躍できるよう、高度なこころの専門家を養成します。

注）本プログラム修了者は、卒業後指定の認定施設（厚生労働省 HP に掲載）で2年以上の現場経験を経た者に限り公認心理師の受験資格が与えられます。また、本学大学院進学者は所定の科目を取得し修了と同時に公認心理師・臨床心理士両方の受験資格が与えられます。

2 プログラムの目標

1年次から4年次まで、講義・実験・演習・実習など様々な形態で科目が開講されます。心理支援を要する人の心理状態の観察、心理検査の実施や結果分析、こころの支援を要する人や関係者への相談・助言・指導、心の健康教育など多面的な専門知識や技能の習得のため、公認心理師法に定められた全32科目・57単位を必修で取得することが目標です。なお、4年次の心理実習（外部機関での実習）は、3年次までの課程履修状況や成績などを総合的に判断した上で履修が認められます。

3 プログラムの対象開講総単位数及び修了要件単位数

開講総単位数：57単位

修了要件単位数：57単位（対象科目全て必修）

4 実習料

4年次「心理実習」履修時に、実習料（40,000円、4年次前期に納付）を納めなければなりません。いったん納入した受講料は、理由のいかんにかかわらず返還できませんので、注意してください。

5 履修上の注意

公認心理師課程を修了するには、学士の学位を有する（大学を卒業する）とともに所定の単位を修得しなければなりません。対象科目はすべて卒業要件にも加えられます。

また、公認心理師科目の履修は、1年次から計画的に行ってください。

3年次編転入学生は2年間での履修が出来ません。通常の修業年数に加え1年間多く在学し指定された履修順序に従ってプログラムを修了する必要がありますのでご注意ください。

6 「心理演習」履修に関する成績基準について

公認心理師課程プログラム必修科目「心理演習」履修可能人数及び履修のための成績基準は以下のとおりです。

以下の基準を満たした学生のみ、「心理演習Ⅰ」「心理演習Ⅱ」の履修登録を行うことができます。

- (1) 「心理演習Ⅰ」受講可能人数：36名
「心理演習Ⅱ」受講可能人数：24名
- (2) 公認心理師課程科目の、「心理学統計法」「心理学研究法」「心理学実験」を原則として履修済みであること（*編入学生は要相談）。
- (3) 履修希望者が受講可能人数を超えた場合は、累積GPA値の高い順に選定する。

7 「心理実習」履修に関する成績基準について

公認心理師課程プログラム必修科目「心理実習」履修のための成績基準は以下のとおりです。

以下の基準を満たした学生のみ、「心理実習Ⅰ」「心理実習Ⅱ」の履修登録を行うことができます。なお、「心理実習Ⅰ」「心理実習Ⅱ」の履修は公認心理師課程プログラム受講者のみを対象とします。

- (1) 「心理実習Ⅰ・Ⅱ」受講可能人数：20名
- (2) 3年次までの累計GPAが3.5以上であること。
- (3) 公認心理師課程科目を半数以上（16科目以上）履修し、かつ優秀な成績（履修科目のうちAまたはBが70%以上を占める）であること。
- (4) 公認心理師課程科目の、「心理学統計法」「心理学研究法」「心理学実験」「心理演習Ⅰ」「心理演習Ⅱ」を原則として履修済みであること（*編入学生は要相談）。
- (5) 履修希望者が20名を超えた場合は、累積GPA値の高い順に20名を選定する。
- (6) 「心理実習」は、就職活動等で欠席することは認められません。

8-2 司書課程プログラムの履修

1 プログラムの概要

図書館司書とは、図書館情報学の知識と技術を身に付け、図書館に固有のサービスに従事する図書館の専門職員です。司書は、都道府県や市町村の公共図書館等で図書館資料の選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを担う場合が多いです。

図書館司書課程の専門科目は、図書館情報学という方法論の学修を基盤とします。本学の司書課程はそれに限らず、図書館情報学と各領域の学びとを有機的に関連させ、体系化させていくことを目標とします。

2 プログラムの目標

図書館司書課程の専門科目は、図書館情報学を基盤とするため、主にメディア領域の専門性と合致する部分が多いです。しかし、本学では領域を限定せず、どの専門を学ぶ学生でも履修できる構造としています。

具体的な履修計画としては、1・2年次に、概論系の科目の学修から始め、2・3年次より、専門性をもった科目へと進みます。さらに、3・4年次は、それまで学んできたことを踏まえ、特論という形のより高度な学びへと進んでいきます。必修科目の一部を卒業要件とはしないことで、司書課程のみを履修して卒業するだけではなく、様々な専門科目も多く学んで、司書資格を得ていくことも企図しています。

3 プログラムの対象開講総単位数及び修了要件単位数

開講総単位数：26 単位

修了要件単位数：24 単位（必修 22 単位＋選択 2 単位）

4 受講料

司書課程プログラムを受講するには、受講料（20,000 円、2 年次 4 月納付）を納めなければなりません。いったん納入した受講料は、理由のいかんにかかわらず返還できませんので、注意してください。

5 履修上の注意

図書館司書の資格を取得するには、所定の単位を修得しなければなりません。一部の司書課程プログラム科目は、卒業要件に含まれませんので注意してください。

1. 卒業要件に含まれない司書課程科目は履修登録上限の対象とはなりません。
2. 出席日数が不足している場合の扱いは通常の課程に準じます。
3. 受講料を収めていない場合、司書課程プログラムの履修は認めません。
4. 留学生は司書課程プログラムの受講ができません。

8-3 英語強化プログラムの履修

1 プログラムの概要

高度な英語運用能力と学術的背景に支えられた国際的視野を身につけ、グローバルな知見・経験が要請されるキャリアプランや多文化共生時代に対応する多様なライフコースを主体的かつ価値創造的に探求できる人物を育成するため、「英語強化プログラム」を設定します。

山梨英和大学の建学の精神に立脚し、リベラルアーツの伝統を生かした一貫する教育アジェンダのもと、英語が事実上の国際共通語として機能している現代社会の現実状況とその流動性を多面的に見据えながら、包摂的な国際感覚の涵養と実践的英語力の伸展を目指します。

2 プログラムの目標

本プログラム履修希望者には、2年次以降毎年最低1回はTOEIC受験を義務付けます。学修必須科目をすべて履修したうえで、各年度に要求される基準を上回るTOEICスコアを取得することを目標とします。目標スコアは下記修了要件単位数をご確認ください。TOEICと異なり、TOEFLの受験は義務化しませんが、4技能能力を問う設問のクオリティならびに国際的認知度を背景としたテストスコアの有用性に鑑みて、中・長期留学希望者にはTOEFLの受験を推奨します。

このプログラムは、グローバル領域専攻の学生に限らず、サイコロジー、メディア両専攻の学生にも受講を強く勧めます。

3 プログラムの対象開講総単位数及び修了要件単位数

開講総単位数：30単位

修了要件単位数：28単位（必修28単位＋選択2単位）

英語強化プログラムは修了要件として下記TOEICスコアの獲得も必要となる。

2年次 目標スコア：600点 修了要件：480点

3年次 目標スコア：700点 修了要件：560点

4年次 目標スコア：750点 修了要件：600点

※各年次のTOEICスコアが修了要件を満たしていない場合、プログラム履修の継続はできません。ただし、3年次編転入学生が本プログラムの受講を希望し、TOEICが未受験である場合は、別途確認を行います。

4 受講料

英語強化プログラムの受講には受講料は必要ありません。

5 推奨履修方法

【1年次】履修単位数：12 単位

学修必須科目：英語 1a・英語 1b・英語 1c・英語 1d

※英語圏短期留学への参加が好ましい。

【2年次】履修単位数：8 単位（パターン1）～ 23 単位（パターン3）

学修必須科目：下記3パターンのいずれか

パターン1：英語 2a・英語 2b・英語 2c・英語 2d

パターン2：カナダ中期留学・英語 2c・英語 2d

パターン3：オーストラリア長期留学

【3年次】履修単位数：4 単位

学修必須科目：英語 3a・英語 3b

※3年次の本プログラム履修者は、原則英語 1b および英語 1d の教育補助（S/A）に
当たることができる。

【4年次】履修単位数：4 単位

学修必須科目：英語 4a・英語 4b

※4年次の本プログラム履修者は、原則英語 1b および英語 1d の教育補助（S/A）に
当たることができる。

8-4-1 データサイエンスプログラムの履修

【対象学生：2026 年度 4 年生】

1 プログラムの概要

今日の高度情報社会において、情報通信技術（ICT）の基礎を身につけることは、すべての学生に必須のものとなっています。データサイエンティストという職業が生まれるなど、データサイエンスという分野が注目されています。そのデータサイエンスを支えている学問が情報科学や統計学です。データサイエンスプログラムでは、これらを学ぶ科目を含んでいます。

プログラムの要件を満たすことが難しいと感じられるかもしれませんが、プログラムの修了要件にある必修科目の一部はデータサイエンスや ICT スキルという卒業するために必ず履修する科目です。メディア・サイエンス領域を専門にしない学生にも修了を目指せるプログラム体系となっています。

本プログラムは、2023（令和 5）年度文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定されました。



数理・データサイエンス・AI
教育プログラム認定制度
リテラシーレベル

認定の有効期限：令和 10 年 3 月 31 日まで

2 プログラムの目標

データサイエンスプログラムでは、データサイエンスを支える統計学・情報科学に関わる基本的な知識と技術の習得を目指します。1 年次のデータサイエンスと ICT スキルに始まり、それ以降はメディア・サイエンス領域専門科目を中心に体系的に修得する構成としています。プログラムの修了要件を満たすことで統計学や情報科学を学ぶことができますので、IT パスポート、基本情報技術者、統計検定などの資格取得を合わせて目指すことができます。ぜひチャレンジしてください。

3 プログラムの対象開講総単位数及び修了要件単位数

開講総単位数：30 単位

修了要件単位数：14 単位（必修 10 単位＋選択 4 単位）

4 受講料

データサイエンスプログラムの受講には受講料は必要ありません。

8-4-2 データサイエンス基礎プログラムの履修

【対象学生：2026年度1・2・3年生】（編転入学生は対象外）

1 プログラムの概要

今日の高度情報社会において、情報通信技術（ICT）の基礎を身につけることは、すべての学生に必須のものとなっています。データサイエンティストという職業が生まれるなど、データサイエンスという分野が注目されています。そのデータサイエンスを支えている学問が情報科学や統計学です。データサイエンスプログラムでは、これらを学ぶ科目を含んでいます。

このプログラムの修了要件は、全て必修科目であるデータサイエンスや ICT スキルという卒業するために必ず履修する科目で構成しており、対象となる学生が卒業と同時に修了できるプログラム体系となっています。

本プログラムは、2023（令和5）年度文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定されました。



数理・データサイエンス・AI
教育プログラム認定制度
リテラシーレベル

認定の有効期限：令和10年3月31日まで

2 プログラムの目標

データサイエンス基礎プログラムでは、データサイエンスを支える統計学・情報科学に関わる基本的な知識と技術の習得を目指します。1年次のデータサイエンスと ICT スキルにより包括的に修得する構成としています。プログラムの修了要件を満たすことで統計学や情報科学の基礎を学ぶことができますので、IT パスポート、基本情報技術者、統計検定などの資格取得を合わせて目指すことができます。

3 プログラムの対象開講総単位数及び修了要件単位数

開講総単位数：6 単位

修了要件単位数：6 単位（全て必修科目）

4 受講料

データサイエンス基礎プログラムの受講には受講料は必要ありません。

8-4-3 データサイエンス応用プログラム（2024～2025 年度入学 生対象）の履修

【対象学生：2026 年度 2・3 年生】

1 プログラムの概要

今日の高度情報社会において、情報通信技術（ICT）の基礎を身につけることは、すべての学生に必須のものとなっています。データサイエンティストという職業が生まれるなど、データサイエンスという分野が注目されています。そのデータサイエンスを支えている学問が情報科学や統計学です。データサイエンスプログラムでは、これらを学ぶ科目を含んでいます。

このプログラムは、卒業と同時に修了が可能なデータサイエンス基礎プログラムの上位にあり、データサイエンス・AI・ICT などに関する高度な知識や技術を学ぶことができます。応用という名前から難しいと感じられるかもしれませんが、プログラムの修了要件にある必修科目の一部はデータサイエンスや ICT スキルという卒業するために必ず履修する科目です。メディア・サイエンス領域を専門にしない学生にも修了を目指せるプログラム体系となっています。

2 プログラムの目標

データサイエンス応用プログラムでは、データサイエンス基礎プログラムの内容をベースに、より高度な知識と技術の習得を目指します。1 年次のデータサイエンスと ICT スキルに始まり、それ以降はメディア・サイエンス領域専門科目を中心に体系的に修得する構成としています。プログラムの修了要件を満たすことで統計学や情報科学を学ぶことができますので、IT パスポート、基本情報技術者、統計検定などの資格取得を合わせて目指すことができます。ぜひチャレンジしてください。

3 プログラムの対象開講総単位数及び修了要件単位数

開講総単位数：20 単位

修了要件単位数：14 単位（必修 10 単位＋選択 4 単位）

4 受講料

データサイエンスプログラムの受講には受講料は必要ありません。

8-4-4 データサイエンス応用プログラム（2026年度以降入学生対象）の履修

【対象学生：2026年度1年生】※編入学生は変更前プログラム対象

1 プログラムの概要

今日の高度情報社会において、情報通信技術（ICT）の基礎を身につけることは、すべての学生に必須のものとなっています。データサイエンティストという職業が生まれるなど、データサイエンスという分野が注目されています。そのデータサイエンスを支えている学問が情報科学や統計学です。データサイエンスプログラムでは、これらを学ぶ科目を含んでいます。

このプログラムは、卒業と同時に修了が可能なデータサイエンス基礎プログラムの上位にあり、データサイエンス・AI・ICTなどに関する高度な知識や技術を学ぶことができます。応用という名前から難しいと感じられるかもしれませんが、プログラムの修了要件にある必修科目の一部はデータサイエンスやICTスキルという卒業するために必ず履修する科目です。メディア・サイエンス領域を専門にしない学生にも修了を目指せるプログラム体系となっています。

2 プログラムの目標

データサイエンス応用プログラムでは、データサイエンス基礎プログラムの内容をベースに、より高度な知識と技術の習得を目指します。1年次のデータサイエンスとICTスキルに始まり、それ以降はメディア・サイエンス領域専門科目を中心に体系的に修得する構成としています。プログラムの修了要件を満たすことで統計学や情報科学を学ぶことができますので、ITパスポート、基本情報技術者、統計検定などの資格取得を合わせて目指すことができます。ぜひチャレンジしてください。

3 プログラムの対象開講総単位数及び修了要件単位数

開講総単位数：12単位

修了要件単位数：12単位（全て必修単位）

4 受講料

データサイエンスプログラムの受講には受講料は必要ありません。

8-5-1 日本語教師養成プログラムの履修

【対象学生：2026年度2・3・4年生】

1 プログラムの概要

日本語教師養成プログラムは、外国人や帰国子女などのような長く外国で生活した人に日本語を教える教員を養成するために開設したものです。今、様々な事情で来日し、日本語の学修を必要とする人々が急増しています。

本プログラムでは、日本語を母語としない人々に日本語習得を指導するための日本語教師を養成します。日本語学修者は、語学留学など日本語を学ぶ目的で来日している人のほか、外国人研修生、技能実習生、定住者、外国人児童・生徒など様々ですが、日本語教師は日本語だけでなく、日本文化や生活習慣などの知識や情報も求められることから、国際文化交流を担う人材の育成も図ってゆきます。なお、留学生もまた、受講できます。

2 プログラムの目標

このプログラムは、日本語教育に必要とされる様々な分野からの学びを義務付けます。特に「言語と教育」分野の4科目は必修であり、「日本語教育概論」、「日本語教授法1」、「日本語教授法2」、「日本語教授法演習（実習含む）」の順での履修が望ましいです。他の分野についてはそれぞれ所定の単位数を修得し、合計26単位以上の習得が必要です。

3 プログラムの対象開講総単位数及び修了要件単位数

開講総単位数：48単位

修了要件単位数：26単位（必修17単位＋選択9単位）

4 受講料

日本語教師養成プログラムの受講には受講料は必要ありません。

5 履修上の注意

本プログラムを修了するには、学士の学位を有する（大学を卒業する）とともに所定の単位を修得しなければなりません。対象科目はすべて卒業要件にも加えられます。

また、履修にあたっては次の点に注意してください。

1. 「日本語教授法2」は「日本語教育概論」、「日本語教授法1」の単位修得者のみ履修することができます。
2. 「日本語教授法演習（実習含む）」は次の科目の単位をすべて修得した人のみ履修することができます。
「日本語学概論」、「日本語教育概論」、「日本語教授法1」、「日本語教授法2」
3. 留学生で「日本語教授法演習（実習含む）」を履修する場合は、「日本語能力試験N1」合格者またはそれと同等の学力を有する人のみ履修できます。

8-5-2 登録日本語教員養成プログラムの履修

【対象学生：2026年度1年生】

1 プログラムの概要

登録日本語教員養成プログラムは、日本語を母語としない外国人や日本語を第一言語としない帰国子女等に、日本語学校（認定日本語教育機関）で日本語を教える際に必要な国家資格「登録日本語教員」を取得するためのプログラムです。国際化の進展にともない、共生社会実現のための環境整備や日本語を母語としない人々への日本語教育、生活支援等の必要性は年々高まっています。そこで、2024年の法整備をきっかけに、「登録日本語教員」という国家資格が創設されました。

本プログラムでは、日本語を母語としない人々に日本語習得を指導する日本語教員を養成します。日本語学習者は、留学など日本語を学ぶ目的で来日している人のほか、技能実習生、定住者、外国人児童・生徒など様々です。国際化が進む社会の中で、日本語教員は日本語だけでなく、日本文化や生活習慣などの知識も求められることから、国際交流を担う人材、グローバルな視野を持つ人材の育成も図ってゆきます。なお、留学生も受講できますが、日本語能力の要件があります。

2 プログラムの目標

このプログラムは、日本語教員に必要とされる言語や文化、日本語教育に関する知識・技能、言語教育者として必要な文化的多様性・社会性に対する態度を養うことを目標としています。日本語教育に必要とされる様々な分野からの学びを義務付けています。プログラムは大きく「日本語教員養成課程」と「日本語教員実践研修」に分かれています。日本語教員養成課程」のコア科目（8科目）の単位を修得しないと、「日本語教員実践研修」の科目を受講できません。プログラム全体の修了には、合計30単位の修得が必要です。

3 プログラムの対象開講総単位数及び修了要件単位数

開講総単位数：30単位（日本語教員養成課程27単位、日本語教員実践研修3単位）

修了要件単位数：30単位（全て必修単位）

4 受講料

日本語教員実践研修における「日本語教育実習」を受講する場合は実習料（20,000円）の納付が必要です。

5 履修上の注意

本プログラムを修了するには、学士の学位を有する（大学を卒業する）とともに所定の単位を修得しなければなりません。対象科目はすべて卒業要件にも加えられます。また、履修にあたっては次の点に注意してください。

1. 「日本語教授法 2」は「日本語教育概論」、「日本語教授法 1」の単位修得者のみ履修することができます。
2. 「日本語教授法演習」及び「日本語教育実習」は次の科目（コア科目）の単位をすべて修得した人のみ履修することができます。
「日本語教育概論」、「日本語教授法 1」、「日本語教授法 2」、「日本語学概論」、「学習・言語心理学Ⅱ」、「教育心理学」、「社会言語学」、「多文化共生論」
3. 留学生で「日本語教授法 2」「日本語教授法演習」及び「日本語教育実習」を履修する場合は、「日本語能力試験 N1」合格者またはそれと同等の力（「日本語教育の参照枠」C1 レベル）を有する人のみ履修できます。「日本語教授法 1」を履修する場合は、「日本語能力試験 N2」合格者またはそれと同等の力（「日本語教育の参照枠」B2 レベル）の日本語力が必要となります。
4. 本プログラムの修了見込みで、国家試験「日本語教員試験」の「基礎試験」が免除となり、「応用試験」の受験が可能となります。在学中に国家試験を受験する場合は、応用試験の仮合格証とプログラムの修了証をもって、国家資格「登録日本語教員」の登録が可能となります。
5. 本プログラムは以下のとおり定員を定めています。
日本語教員養成課程：84 名
日本語教員実践研修：14 名
それぞれの課程で履修希望者が定員を超える場合は、成績（GPA）等により選抜を行う可能性があります。

8-6 山梨地域コーディネーター養成プログラムの履修

1 プログラムの概要

本プログラムは山梨地域コーディネーターを養成するために、「地域教養科目」、「専門基礎科目」、「専門発展科目」の三つの科目群から構成されています。「地域教養科目」では山梨の地域の現状課題について学ぶ「山梨学」やサービスラーニングの基礎を学ぶ科目があります（6単位以上、「山梨学」と「サービスラーニング」は必修とします）。「専門基礎科目」では、地域の具体的な問題への取り組みを学び、地域の問題を読み解くための専門的知識やスキルを、あるいは、現代子育ての課題、CCRCの可能性、サービスサイエンスといったテーマについて学びます。また、地域社会、地域産業のあり方を考えるために、「社会学」「経営学Ⅰ・Ⅱ」「経済学Ⅰ・Ⅱ」などの科目も用意されています。（6単位以上）

専門発展科目では、PBLをとまなひながら、実際の地域課題をフィールドワークなどで応用的・実践的に学び（4単位以上）、合計20単位以上の履修を目指します。

2 プログラムの目標

「山梨地域コーディネーター養成プログラム」では山梨地域の課題解決に取り組める人材の養成を目的としています。地域が抱える問題を主体的に発見し、地域の問題を読み解くための専門的知識やスキルを身に付け、課題解決に主体的に取り組み、多様なメンバーによる連携や協働による課題解決の実践「コーディネーション」の力を身に付け、実社会において役立つ知識・スキルに磨きをかけた「地域コーディネーター」の養成を目指します。

3 プログラムの対象開講総単位数及び修了要件単位数

開講総単位数：44単位＋単位互換科目1科目2単位＝46単位

修了要件単位数：20単位（必修6単位＋選択14単位）

4 受講料

山梨地域コーディネーター養成プログラムの受講には受講料は必要ありません。

2026年度開講科目一覧表

(※1)3つのポリシー(D1,D2,D3)と授業の関連性を以下の3つの記号で表記しています。
 ◎:深く関連している、○:関連している、
 ー:◎や○と比較すると関連は弱い

対象学生:2026年度1年生

基礎科目												
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3
BA1001	キリスト教概論1	講義	2		1	前期		高誠		◎	◎	◎
BA2001	キリスト教概論2	講義	2		2~4			開講せず		◎	◎	◎
BA1002	人間文化学	講義	2		1		○	難波道弘		◎	◎	◎
BA1101	基礎ゼミナール1 J・K:留学生クラス L:再履修クラス	演習	2		1	前期		大井奈美		◎	◎	◎
								加藤 仁				
								高誠				
								佐柳信男				
								杉浦篤志				
								根木英彦				
								三國牧子				
								三井さや花				
								劉 楠				
								高見研一				
								伊野波優美				
								李 尚珍				
BA1102	基礎ゼミナール2 J・K:留学生クラス L:再履修クラス	演習	2		1	後期		大井奈美		◎	◎	◎
								加藤 仁				
								高誠				
								佐柳信男				
								杉浦篤志				
								根木英彦				
								三國牧子				
								三井さや花				
								劉 楠				
								高見研一				
								伊野波優美				
								李 尚珍				
BA1103	ICTスキル1	演習	2		1	前期		大井奈美		◎	-	-
								杉浦篤志				
								河本稔馨				
								天野早紀				
BA1104	ICTスキル2	演習	2		1	後期		大井奈美		◎	-	-
								杉浦篤志				
								河本稔馨				
								天野早紀				
BA1105	英語1a H:再履修クラス	演習	2		1	前期		Sutton		◎	◎	○
								Brown				
								星野真理				
								内田光枝				
								Granier				
								山本明歩				
								根木英彦				
								根木英彦				
BA1106	英語1b H:再履修クラス	演習	2		1	前期		Brown		◎	◎	○
								Sanchez				
								山本明歩				
								Sutton				
								根木英彦				
								星野真理				
								井上征剛				
								井上征剛				

基礎科目													
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1			
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			D1	D2	D3	
BA1107	英語1c H:再履修クラス	A	演習	2	1		後期	Sutton		◎	◎	○	
		B											
		C											
		D											
		E											
		F											
		G											
		H											
BA1108	英語1d H:再履修クラス	A	演習	2	1		後期	Granier		◎	◎	○	
		B											
		C											
		D											
		E											
		F											
		G											
		H											
BA2101	英語2a	演習	2	2				開講せず		◎	◎	○	
BA2102	英語2b	演習	2	2				開講せず		○	◎	○	
BA2103	英語2c	演習	2	2				開講せず		◎	◎	◎	
BA2104	英語2d	演習	2	2				開講せず		○	◎	○	
BA3101	英語3a	演習	2	3・4				開講せず		◎	◎	○	
BA3102	英語3b	演習	2	3・4				開講せず		◎	◎	○	
BA4101	英語4a	演習	2	4				開講せず		◎	◎	○	
BA4102	英語4b	演習	2	4				開講せず		◎	◎	○	
BA1109	ドイツ語1	演習	2	1・2	前期			井上征剛		◎	◎	◎	
BA1110	ドイツ語2	演習	2	1・2		後期		井上征剛		◎	◎	◎	
BA1111	フランス語1	演習	2	1・2	前期			板井 仁		◎	◎	◎	
BA1112	フランス語2	演習	2	1・2		後期		板井 仁		◎	◎	◎	
BA1113	中国語1	演習	2	1	前期			劉 楠		○	◎	—	
BA1114	中国語2	演習	2	1		後期		劉 楠		○	◎	—	
BA2105	中国語3	演習	2	2				開講せず		○	◎	—	
BA2106	中国語4	演習	2	2				開講せず		○	◎	—	
BA1115	韓国語1	A	演習	2	1	前期		李 尚珍		◎	◎	○	
		B											
BA1116	韓国語2	A	演習	2	1		後期	李 尚珍		◎	◎	○	
		B											
BA2107	韓国語3	演習	2	2				開講せず		◎	◎	○	
BA2108	韓国語4	演習	2	2				開講せず		◎	◎	○	
BA1117	日本語スキル1 G:留学生クラス	A	演習	2	1	前期		天野早紀		◎	◎	—	
		B											
		C											
		D											
		E											
		F											
		G											
BA1118	日本語スキル2 G:留学生クラス	A	演習	2	1	後期		天野早紀		◎	◎	—	
		B											
		C											
		D											
		E											
		F											
		G											
BA1119	日本語1a (留学生対象必修科目)	A	演習	2	1	前期		佐野正子		○	◎	—	
		B											
BA1120	日本語1b (留学生対象必修科目)	A	演習	2	1	前期		高見研一		○	◎	—	
		B											

基礎科目												
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			D1	D2	D3
BA1121	日本語1c (留学生対象必修科目)	A	演習	2	1		後期	佐野正子		○	◎	—
		B										
BA1122	日本語1d (留学生対象必修科目)	A	演習	2	1		後期	高見研一		○	◎	—
		B										
BA2109	日本語2a (留学生対象科目)		演習	2	2			開講せず		○	◎	—
BA2110	日本語2b (留学生対象科目)		演習	2	2			開講せず		○	◎	—
BA2111	日本語2c (留学生対象科目)		演習	2	2			開講せず		○	◎	—
BA2112	日本語2d (留学生対象科目)		演習	2	2			開講せず		○	◎	—
BA3103	日本語3a (留学生対象科目)		演習	2	3			開講せず		◎	◎	—
BA3104	日本語3b (留学生対象科目)		演習	2	3			開講せず		◎	◎	—
BA3105	日本語3c (留学生対象科目)		演習	2	3			開講せず		○	◎	—
BA3106	日本語3d (留学生対象科目)		演習	2	3			開講せず		○	◎	—
BA0101	日本語演習1 (留学生対象科目)		演習	2	1~4	前期		井上敬子		○	◎	—
BA0102	日本語演習2 (留学生対象科目)		演習	2	1~4		後期	井上敬子		○	◎	—
BA2113	ビジネス日本語1 (留学生対象科目)		演習	2	2~4			開講せず		◎	◎	○
BA2114	ビジネス日本語2 (留学生対象科目)		演習	2	2~4			開講せず		◎	◎	○
BA2115	山梨学 I		演習	2	2			開講せず		◎	○	◎
BA2116	山梨学 II		演習	2	2			開講せず		◎	○	◎
BA0301	アジア短期留学I		実習	2	1~4			開講せず		○	◎	◎
BA0302	アジア短期留学II		実習	3	1~4			開講せず		◎	◎	○
BA2301	カナダ中期留学		実習	10	2・3			開講せず		◎	◎	○
BA2302	インターンシップ		実習	2	2・3			開講せず		◎	◎	◎
BA1301	英語圏短期留学 I		実習	2	1~3			開講せず		◎	◎	○
BA2303	英語圏短期留学 II		実習	2	2・3			開講せず		○	◎	◎

領域専門科目(サイコソジカル・サービス)

ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			D1	D2	D3
PS1001	心理学概論 I	講義	2		1	前期		槻館尚武		◎	○	—
PS1002	心理学概論 II	講義		2	1		後期	佐柳信男		◎	○	—
PS1003	公認心理師の職責	講義		2	1・2	前期		加藤 仁		◎	◎	○
PS2001	知覚・認知心理学 I	講義		1	2			開講せず		◎	—	—
PS2002	知覚・認知心理学 II	講義		1	2			開講せず		◎	—	—
PS2003	学習・言語心理学 I	講義		1	2			開講せず		○	○	—
PS2004	学習・言語心理学 II	講義		1	2			開講せず		○	○	—
PS2005	教育心理学	講義		2	2			開講せず		○	○	○
PS2006	発達心理学	講義		2	2			開講せず		◎	○	○
PS2007	社会・集団・家族心理学 I	講義		1	2			開講せず		◎	○	○
PS2008	社会・集団・家族心理学 II	講義		1	2			開講せず		—	◎	○
PS2009	臨床心理学概論	講義		2	2			開講せず		◎	◎	○
PS2010	感情・人格心理学 I	講義		1	2			開講せず		○	○	—
PS2011	感情・人格心理学 II	講義		1	2			開講せず		◎	◎	○
PS2012	心理学的支援法 I	講義		2	2			開講せず		◎	◎	○
PS2013	福祉心理学	講義		2	2			開講せず		◎	○	◎
PS2014	健康・医療心理学	講義		2	2			開講せず		◎	◎	○
PS2015	人体の構造と機能及び疾病	講義		2	2			開講せず		◎	—	—
PS2016	心理学統計法	講義		2	2			開講せず		○	○	—
PS2017	心理学研究法	講義		2	2			開講せず		◎	◎	◎
PS2201	心理学実験(2時間連続授業)	実験		2	2			開講せず		◎	◎	◎
PS2101	心理学データ分析演習 I	講義・演習		1	2			開講せず		○	○	—
PS2102	心理学データ分析演習 II	講義・演習		1	2			開講せず		○	○	—
PS3001	心理的アセスメント	講義		2	3			開講せず		◎	◎	—
PS3101	心理演習 I(2時間連続授業)	演習		2	3			開講せず		◎	◎	○
PS3102	心理演習 II(2時間連続授業)	演習		2	3			開講せず		◎	◎	◎
PS3103	Psychology in English	演習		2	3			開講せず		◎	◎	○
PS2018	神経・生理心理学	講義		2	2			開講せず		◎	—	—
PS2019	障害者・障害児心理学	講義		2	2			開講せず		◎	◎	○
PS3002	心理学的支援法 II	講義		2	3			開講せず		◎	◎	○
PS3003	教育・学校心理学	講義		2	3			開講せず		○	○	—
PS3004	司法・犯罪心理学	講義		2	3			開講せず		○	○	—
PS3005	産業・組織心理学	講義		2	3			開講せず		○	◎	○
PS3006	精神疾患とその治療	講義		2	3			開講せず		◎	○	○
PS3007	関係行政論	講義		2	3			開講せず		◎	◎	○
PS3008	コミュニティワーク	講義		2	3			開講せず		◎	○	◎
PS4301	心理実習 I	実習		1	4			開講せず		◎	◎	○
PS4302	心理実習 II	実習		2	4			開講せず		◎	◎	◎
PS2103	サイコソジカルサービス 導入ゼミナール	演習		2	2			開講せず		◎	◎	○

領域専門科目(グローバル・スタディーズ)

ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3
GS1001	世界の文化	講義	2		1		後期	井上征剛 山本明歩		◎	○	◎
GS2101	ヨーロッパの社会と文化	演習		2	2			開講せず		◎	◎	◎
GS2102	アジアの社会と文化	演習		2	2			開講せず		◎	◎	○
GS2103	民族と社会 I	講義・演習		2	2			開講せず		○	○	◎
GS2104	民族と社会 II	講義・演習		2	2			開講せず		◎	◎	○
GS2001	宗教と思想	講義		2	2			開講せず		◎	◎	◎
GS2002	英語学概論	講義		2	2			開講せず		◎	◎	◎
GS2003	英語の文法	講義		2	2			開講せず		◎	◎	○
GS2004	英語音声学	講義		2	2			開講せず		◎	○	—
GS2005	日本語学概論	講義		2	2			開講せず		◎	◎	—
GS2006	日本語表現論	講義		2	2			開講せず		◎	◎	—
GS2105	日本語表現演習(B:留学生クラス)	演習		2	2			開講せず		○	◎	—
GS2007	日本の文学	講義		2	2			開講せず		◎	◎	—
GS2008	日本文学史	講義		2	2			開講せず		◎	◎	—
GS2009	日本文化論	講義		2	2			開講せず		◎	○	○
GS2010	音楽史・音楽学	講義		2	2			開講せず		◎	—	○
GS2011	舞台芸術論	講義		2	2			開講せず		◎	○	◎
GS2012	経済学I(オンライン開講)	講義		2	2			開講せず		◎	○	—
GS2013	経営学I	講義		2	2			開講せず		◎	○	—
GS2014	社会学	講義		2	2			開講せず		◎	◎	○
GS3001	ジェンダー論	講義		2	3			開講せず		◎	◎	◎
GS3002	人間と文明	講義		2	2			開講せず		◎	○	◎
GS3003	社会言語学	演習		2	2			開講せず		◎	◎	—
GS3101	Globalization and Culture I	講義・演習		2	3			開講せず		◎	○	○
GS3102	Globalization and Culture II	講義・演習		2	3			開講せず		◎	○	○
GS3103	Presentations in English	演習		2	3			開講せず		◎	◎	◎
GS3104	Business English	演習		2	3			開講せず		◎	◎	—
GS2015	日本語の文法	講義		2	2			開講せず		◎	◎	—
GS2016	日本語文法研究	講義		2	2			開講せず		◎	◎	—
GS2017	日本語の音声	講義		2	2			開講せず		◎	○	—
GS2018	日本語教育概論	講義		2	2			開講せず		◎	◎	—
GS2019	日本語教授法1	講義		2	2			開講せず		○	◎	—
GS3004	現代の日本語	講義		2	3			開講せず		◎	○	—
GS3005	近現代文学論	講義		2	3			開講せず		◎	◎	—
GS3105	現代文化論	講義・演習		2	3			開講せず		◎	◎	—
GS3106	児童文学講読	演習		2	3			開講せず		◎	○	○
GS3107	創作と表現	演習		2	3			開講せず		◎	◎	—
GS3006	経済学II(オンライン開講)	講義		2	3			開講せず		◎	○	—
GS3007	経営学II	講義		2	3			開講せず		◎	◎	○
GS3009	マーケティング論	講義		2	3			開講せず		◎	○	—
GS3010	国際交流論	講義		2	3			開講せず		◎	◎	○
GS3011	国際関係論	講義		2	3			開講せず		◎	◎	—
GS3108	Global Issues	演習		2	3			開講せず		◎	◎	○
GS3109	Public Speaking and Debating in English	演習		2	3			開講せず		◎	◎	◎
GS3012	日本語教授法2	講義		2	3			開講せず		◎	◎	—
GS3110	日本語教授法演習	演習		2	3			開講せず		◎	◎	—
GS3301	日本語教育実習	実習		1	3			開講せず		◎	◎	—
GS3013	現代芸術論	講義		2	3			開講せず		◎	◎	—
GS3014	表象文化論	講義		2	3			開講せず		◎	◎	○
GS3015	比較文化・思想論	講義		2	3			開講せず		◎	◎	○
GS3111	地域研究・実践論	講義・演習		2	3			開講せず		◎	○	—
GS3016	グローバル経済論	講義		2	3			開講せず		◎	○	○
GS3017	グローバル経営論	講義		2	3			開講せず		◎	◎	○
GS2107	グローバルスタディーズ 導入ゼミナール	演習		2	2			開講せず		◎	◎	○

領域専門科目(メディア・サイエンス)													
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1			
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			D1	D2	D3	
MS1001	データサイエンス1	講義	2		1	前期		杉浦篤志		◎	◎	—	
MS1101	データサイエンス2	演習		2	1		後期	杉浦篤志		◎	—	—	
MS1102	プログラミングI	演習		2	1		後期	難波道弘		◎	◎	—	
MS2101	プログラミングII	演習		2	2			開講せず		◎	—	—	
MS2001	メディアサイエンス概論	講義	2	2				開講せず		◎	○	○	
MS2002	ネットワークとセキュリティ	講義	2	2				開講せず		◎	◎	—	
MS2003	情報数理I	講義		2	1	前期		杉浦篤志		◎	◎	—	
MS2004	情報数理II	講義		2	1		後期	野村 魁		◎	◎	—	
MS2102	データアナリティクス I	演習		2	2			開講せず		◎	○	—	
MS2103	データアナリティクスII	演習		2	3			開講せず		◎	◎	—	
MS2005	知的財産権と情報倫理	講義	2	2				開講せず		◎	◎	◎	
MS2006	コンピュータシステムI	講義	2	2				開講せず		◎	○	—	
MS2104	メディアプロジェクトI	演習	2	2				開講せず		◎	◎	—	
MS2007	アルゴリズムとデータ構造I	講義	2	2				開講せず		◎	○	—	
MS2008	アルゴリズムとデータ構造II	講義	2	3				開講せず		◎	○	—	
MS3001	コンピュータシステムII	講義	2	3				開講せず		◎	○	—	
MS2010	プロジェクトマネジメント	講義	2	2				開講せず		◎	○	—	
MS3101	ICT English	演習	2	3				開講せず		◎	○	◎	
MS3102	メディアプロジェクトII	演習	2	3				開講せず		◎	◎	○	
MS2105	メディア論	講義・演習	2	2				開講せず		◎	◎	○	
MS2106	メディアサイエンス特講 I	講義・演習	2	2				開講せず		◎	○	—	
MS2107	メディアサイエンス特講 II	講義・演習	2	2				開講せず		◎	◎	○	
MS2108	メディアサイエンス導入ゼミナール	演習	2	2				開講せず		◎	◎	○	

領域専門科目(融合領域科目)													
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		2025年度担当者(案)	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1			
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			D1	D2	D3	
IN2001	多文化共生論	講義		2	2			開講せず		◎	◎	○	
IN2101	サービスラーニング	演習		2	2・3			開講せず		◎	◎	◎	
IN3001	芸術と心理療法	講義	2	3・4				開講せず		◎	◎	○	
IN3002	意思決定論(オンライン開講)	講義	2	3・4				開講せず		◎	◎	○	
IN3003	子どもと文化	講義	2	3・4				開講せず		◎	—	◎	
IN3004	高齢者の心理と健康	講義・演習	2	3・4				開講せず		◎	◎	◎	
IN3101	サービス・サイエンスとCCRC	演習	2	3・4				開講せず		◎	○	—	
IN3102	地域課題研究	演習	2	3・4				開講せず		◎	◎	◎	
IN3103	子育て支援実践演習	演習	1	3・4				開講せず		◎	◎	◎	

領域専門科目(ゼミ)													
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1			
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			D1	D2	D3	
PS3104	サイロジカルサービス 専門ゼミナール1	演習	2	3				開講せず		◎	◎	○	
PS3105	サイロジカルサービス 専門ゼミナール2	演習	2	3				開講せず		◎	◎	○	
GS3112	グローバルスタディーズ 専門ゼミナール1	演習	2	3				開講せず		◎	◎	○	
GS3113	グローバルスタディーズ 専門ゼミナール2	演習	2	3				開講せず		◎	◎	○	
MS3103	メディアサイエンス 専門ゼミナール1	演習	2	3				開講せず		◎	◎	○	
MS3104	メディアサイエンス 専門ゼミナール2	演習	2	3				開講せず		◎	◎	○	
SE4101	卒業プロジェクト研究1	演習	4	4				開講せず		◎	◎	○	
SE4102	卒業プロジェクト研究2	演習	4	4				開講せず		◎	◎	○	

オープン科目												
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			D1	D2	D3
OP1001	聖書学	講義		2	1・2		後期	高 誠		○	◎	○
OP3001	日本文学講読Ⅰ	講義		2	3・4			開講せず		◎	◎	—
OP3002	日本文学講読Ⅱ	講義		2	3・4			開講せず		◎	○	○
OP2001	英米文学史(オンライン開講)	講義		2	2・3			開講せず		◎	◎	○
OP2002	英米文学講読(オンライン開講)	講義		2	2・3			開講せず		◎	◎	○
OP2003	まんが論	講義		2	2・3			開講せず		◎	◎	—
OP3003	情報と職業	講義		2	3・4			開講せず		◎	○	—
OP1002	美術の表現	講義		2	1・2	前期		李 尚 珍		◎	◎	○
OP1101	造形と制作	演習		2	1・2		後期	井坂健一郎	20	○	○	—
OP2101	演技と発声	演習		2	2・3			開講せず		○	◎	—
OP1003	健康スポーツ論	講義		2	1	前期		木内政孝		◎	—	—
OP1401	スポーツ実技	実技		1	1		後期	金澤翔一	16	○	◎	—
OP1004	日本国憲法	講義		2	1	前期		山内幸雄		◎	◎	—
OP3004	漢文学	講義		2	3・4			開講せず		◎	○	—
OP2102	書道	演習		2	2・3			開講せず		◎	○	—
OP0101	英会話Ⅰ	演習		2	1~4	前期		Sutton	20	○	◎	○
OP0102	英会話Ⅱ	演習		2	1~4		後期	Sutton	20	○	◎	○
OP2103	文化観光の英語	演習		2	2			開講せず		○	◎	—
OP0103	山梨の地場産業	講義・演習		2	1~4	前期		今井 久		◎	◎	○
OP0104	縄文文化と山梨	講義・演習		1	1~4		○	長澤宏昌	20	◎	○	—
OP0105	地域づくりの理論と実践	講義・演習		1	1~4			開講せず		◎	○	—
OP2104	ローカルツーリズム論	講義・演習		2	2~4			開講せず		◎	◎	○
OP1102	外国語特別演習	講義・演習		2	1	前期		根木英彦		○	◎	◎
OP0106	特別講義Ⅰ	講義・演習		1	1~4	○		塚本俊也		○	○	—
OP0107	特別講義Ⅱ	講義・演習		2	1~4		後期	李 尚 珍 天野早紀		○	○	—
OP0001	数学の基礎	講義		2	1~4	前期		杉浦篤志		◎	—	—
OP0002	社会学の基礎	講義		2	1~4		後期	田辺 龍		◎	◎	○
OP2005	生涯学習概論	講義		2	2			開講せず		◎	◎	○
OP1005	図書館サービス概論	講義		2	1		後期	河本穂馨		◎	◎	◎

2026年度公認心理師課程プログラム科目一覧表

対象学生:2026年度1年生

公認心理師課程プログラムに関する科目					
公認心理師法施行規則(平成29年 文部科学省・厚生労働省令第3号) に定める科目	本学開講科目	区分	単位数 (必修)	履修年次	備考
1. 公認心理師の職責	公認心理師の職責	講義	2	1・2	前掲
2. 心理学概論	心理学概論Ⅰ	講義	2	1	前掲
	心理学概論Ⅱ	講義	2	1	前掲
3. 臨床心理学概論	臨床心理学概論	講義	2	2	開講せず
4. 心理学研究法	心理学研究法	講義	2	2	開講せず
5. 心理学統計法	心理学統計法	講義	2	2	開講せず
6. 心理学実験	心理学実験	実験	2	2	開講せず
7. 知覚・認知心理学	知覚・認知心理学Ⅰ	講義	1	2	開講せず
	知覚・認知心理学Ⅱ	講義	1	2	開講せず
8. 学習・言語心理学	学習・言語心理学Ⅰ	講義	1	2	開講せず
	学習・言語心理学Ⅱ	講義	1	2	開講せず
9. 感情・人格心理学	感情・人格心理学Ⅰ	講義	1	2	開講せず
	感情・人格心理学Ⅱ	講義	1	2	開講せず
10. 神経・生理心理学	神経・生理心理学	講義	2	2	開講せず
11. 社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学Ⅰ	講義	1	2	開講せず
	社会・集団・家族心理学Ⅱ	講義	1	2	開講せず
12. 発達心理学	発達心理学	講義	2	2	開講せず
13. 障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	講義	2	2	開講せず
14. 心理的アセスメント	心理的アセスメント	講義	2	3	開講せず
15. 心理学的支援法	心理学的支援法Ⅰ	講義	2	2	開講せず
	心理学的支援法Ⅱ	講義	2	3	開講せず
16. 健康・医療心理学	健康・医療心理学	講義	2	2	開講せず
17. 福祉心理学	福祉心理学	講義	2	2	開講せず
18. 教育・学校心理学	教育・学校心理学	講義	2	3	開講せず
19. 司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	講義	2	3	開講せず
20. 産業・組織心理学	産業・組織心理学	講義	2	3	開講せず
21. 人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	講義	2	2	開講せず
22. 精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	講義	2	3	開講せず
23. 関係行政論	関係行政論	講義	2	3	開講せず
24. 心理演習	心理演習Ⅰ	演習	2	3	開講せず
	心理演習Ⅱ	演習	2	3	開講せず
25. 心理実習(80時間以上)	心理実習Ⅰ	実習	1	4	開講せず
	心理実習Ⅱ	実習	2	4	開講せず

修了要件単位数:57単位

2026年度司書課程プログラム科目一覧表

対象学生：2026年度1年生

※留学生は司書課程の受講はできません

(※1)3つのポリシー(D1,D2,D3)と授業の関連性を以下の3つの記号で表記しています。
◎：深く関連している、○：関連している、
—：◎や○と比較すると関連は弱い

司書課程プログラムに関する科目														
	ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	備考	ポリシーと授業の関連 ※1			
				必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			D1	D2	D3	
必修科目	OP2005	生涯学習概論	講義	2		2				開講せず		◎	◎	○
	QL2001	図書館概論	講義	2		2				開講せず	卒業要件対象外	◎	◎	◎
	QL3001	図書館制度・経営論	講義	2		3				開講せず	卒業要件対象外	◎	○	—
	QL3002	図書館情報技術論	講義	2		3				開講せず	卒業要件対象外	◎	◎	○
	OP1005	図書館サービス概論	講義	2		1		後期	河本穂馨			○	○	○
	QL2002	情報サービス論	講義	2		2				開講せず	卒業要件対象外	○	○	○
	QL3003	児童サービス論	講義	2		3				開講せず	卒業要件対象外	○	○	○
	QL3101	情報サービス演習Ⅰ	演習	1		3				開講せず	卒業要件対象外	○	○	○
	QL3102	情報サービス演習Ⅱ	演習	1		3				開講せず	卒業要件対象外	○	○	○
	QL2003	図書館情報資源概論	講義	2		2				開講せず	卒業要件対象外	○	○	○
	QL2004	情報資源組織論	講義	2		2				開講せず	卒業要件対象外	◎	○	—
	QL3103	情報資源組織演習Ⅰ	演習	1		3				開講せず	卒業要件対象外	◎	○	—
	QL3104	情報資源組織演習Ⅱ	演習	1		3				開講せず	卒業要件対象外	◎	○	—
	選択科目	QL3004	図書館基礎特論	講義		1	3				開講せず	選択必修 2科目2単位選択 卒業要件対象外	◎	○
QL3005		図書館サービス特論	講義		1	3				開講せず	◎		○	○
QL3006		図書館情報資源特論	講義		1	3				開講せず	◎		○	◎
QL3007		図書・図書館史(オンライン開講)	講義		1	3				開講せず	○		○	○

修了要件単位数：24単位

2026年度英語強化プログラム科目一覧表

対象学生：2026年度1年生

英語強化プログラムに関する科目										
科目名	区分	単位数		履修年次	期間				担当者	備考
		必修	選択		前期 1Q・2Q		後期 3Q・4Q			
英語1a	演習	2		1					前掲	
英語1b	演習	2		1					前掲	
英語1c	演習	2		1					前掲	
英語1d	演習	2		1					前掲	
英語2a	演習	2		2					開講せず	
英語2b	演習	2		2					開講せず	
英語2c	演習	2		2					開講せず	
英語2d	演習	2		2					開講せず	
英語3a	演習	2		3・4					開講せず	
英語3b	演習	2		3・4					開講せず	
英語4a	演習	2		4					開講せず	
英語4b	演習	2		4					開講せず	
英会話Ⅰ	演習	2		1～4					前掲	
英会話Ⅱ	演習	2		1～4					前掲	
文化観光の英語	演習		2	2					開講せず	

※カナダ中期留学の単位取得者は留学に参加する学年に応じて以下のとおりプログラムの必修科目を免除する。

2年生：英語2a・英語2b

3年生：英語3a

4年生：英語4a

※オーストラリア長期留学での単位取得者は英語2a・英語2b・英語2c・英語2dを免除

※本プログラムの修了は別途定めるTOEICスコアの取得が必要

※2年次転入生、3年次編転入生が本プログラムの履修を希望する場合は、1年次必修科目（英語1a～英語1d）を免除する。（必修科目「英語1a～英語1d」を履修したものとみなし、合計修了要件は20単位とする。）

修了要件単位数：28単位

2026年度データサイエンス基礎プログラム科目一覧表

対象学生:2026年度1年生(編転入学生は対象外)

データサイエンス基礎プログラムに関する科目										
科目名	区分	単位数		履修年次	期間				担当者	備考
		必修	選択		前期 1Q・2Q		後期 3Q・4Q			
ICTスキル1	演習	2		1					前掲	
ICTスキル2	演習	2		1					前掲	
データサイエンス1	講義	2		1					前掲	

修了要件単位数:6単位

2026年度データサイエンス応用プログラム科目一覧表

対象学生:2026年度1年生

データサイエンス応用プログラムに関する科目										
科目名	区分	単位数		履修年次	期間				担当者	備考
		必修	選択		前期 1Q・2Q		後期 3Q・4Q			
ICTスキル1	演習	2		1					前掲	
ICTスキル2	演習	2		1					前掲	
データサイエンス1	講義	2		1					前掲	
データサイエンス2	演習	2		1					前掲	
メディアサイエンス概論	講義	2		2					開講せず	
プログラミング I	演習	2		1					前掲	

修了要件単位数:12単位

2026年度登録日本語教員養成プログラム科目一覧表

対象学生:2026年度1年生

登録日本語教員養成プログラム科目											
課程名	区分	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	備考	
				必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			
日本語教員養成課程	言語と教育	日本語教育概論	講義	2		2				開講せず	※
		日本語教授法1	講義	2		2				開講せず	※
		日本語教授法2	講義	2		3				開講せず	※
	言語一般	日本語学概論	講義	2		2				開講せず	※
		日本語文法研究	講義	2		2				開講せず	
		日本語の音声	講義	2		2				開講せず	
		現代の日本語	講義	2		3				開講せず	
	言語と心理	学習・言語心理学Ⅱ	講義	1		2				開講せず	※
		教育心理学	講義	2		2				開講せず	※
	言語と社会	社会言語学	演習	2		2				開講せず	※
		多文化共生論	講義	2		2				開講せず	※
	社会・地域文化	国際関係論	講義	2		3				開講せず	
		国際交流論	講義	2		3				開講せず	
実践日本語教員研修	日本語教授法演習	講義	2		3				開講せず		
	日本語教育実習	講義	1		3				開講せず		

備考欄の※科目は実践研修科目の受講前に履修が必要な科目
 修了要件単位数:30単位

2026年度山梨地域コーディネーター養成プログラム科目一覧表

対象学生：2026年度1年生

山梨地域コーディネーター養成プログラムに関する科目										
	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	備考	
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			
地域 教養 科目	山梨学Ⅰ	演習	2		2				開講せず	6単位以上
	山梨学Ⅱ	演習	2		2				開講せず	
	サービスラーニング	演習	2		2・3				開講せず	
	心理学概論Ⅱ	講義		2	1				前掲	
	メディアサイエンス概論	講義		2	2				開講せず	
	縄文文化と山梨	講義・演習		1	1～4				前掲	
	地域づくりの理論と実践	講義・演習		1	1～4				開講せず	
専門 基礎 科目	文化観光の英語	演習		2	2				開講せず	6単位以上
	ローカルツーリズム論	講義・演習		2	2～4				開講せず	
	山梨の地場産業	講義・演習		2	1～4				前掲	
	発達心理学	講義		2	2				開講せず	
	心理学的支援法Ⅰ	講義		2	2				開講せず	
	障害者・障害児心理学	講義		2	2				開講せず	
	高齢者の心理と健康	講義		2	3・4				開講せず	
	社会学	講義		2	2				開講せず	
	経営学Ⅰ	講義		2	2				開講せず	
	経営学Ⅱ	講義		2	3				開講せず	
	経済学Ⅰ	講義		2	2				開講せず	
	経済学Ⅱ	講義		2	3				開講せず	
	マーケティング論	講義		2	3				開講せず	
専門 発展 科目	サービスサイエンスとCCRC	演習		2	3・4				開講せず	4単位以上
	地域課題研究	演習		2	3・4				開講せず	
	インターンシップ	実習		2	2・3				開講せず	

科目区分ごとの必要単位数を満たし、さらに合計20単位以上を修得すること。

※3年次編転入生が本プログラムの履修を希望する場合は、2年次必修科目(山梨学Ⅰ)を免除する。(必修科目「山梨学Ⅰ」を履修したものとみなし、合計修了要件は18単位とする。)

※次のコンソーシアム科目については学則30条の規程により取得した単位を「専門発展科目」として必要単位数に加えることができる。

・フューチャーサーチ(2単位) ※2025年度まで開講

修了要件単位数：20単位

履修登録上限対象外科目一覧表

卒業要件に含まれるもの ※登録上限単位には含まず、卒業要件となる科目			
科目名	単位数		履修年次
	必修	選択	
アジア短期留学Ⅰ		2	1～4
アジア短期留学Ⅱ		3	1～4
インターンシップ		2	2・3
英語圏短期留学Ⅰ		2	1～3
英語圏短期留学Ⅱ		2	2・3

卒業要件に含まれないもの ※登録上限単位には含まず、資格要件のみとなる科目			
科目名	単位数		履修年次
	必修	選択	
図書館概論	2		2
図書館制度・経営論	2		3
図書館情報技術論	2		3
情報サービス論	2		2
児童サービス論	2		3
情報サービス演習Ⅰ	1		3
情報サービス演習Ⅱ	1		3
図書館情報資源概論	2		2
情報資源組織論	2		2
情報資源組織演習Ⅰ	1		3
情報資源組織演習Ⅱ	1		3
図書館基礎特論		1	3
図書館サービス特論		1	3
図書館情報資源特論		1	3
図書・図書館史		1	3

必修科目一覧表

○は必修科目として履修する科目

区分	科目名	履修年次	単位数	1年次入学生	2年次転入生	3年次編入生
基礎科目	キリスト教概論1	1	2	○	○	
	キリスト教概論2 *2~4年次	2~4	2	○	○	
	人間文化学	1	2	○		
	基礎ゼミナール1	1	2	○		
	基礎ゼミナール2	1	2	○		
	ICTスキル1	1	2	○		
	ICTスキル2	1	2	○		
	英語1a ※留学生は「日本語1a」を履修	1	2	○		
	英語1b ※留学生は「日本語1b」を履修	1	2	○		
	英語1c ※留学生は「日本語1c」を履修	1	2	○		
	英語1d ※留学生は「日本語1d」を履修	1	2	○		
	日本語スキル1	1	2	○		
	日本語スキル2	1	2	○		
	山梨学 I	2	2	○	○	
小計単位数	—	28	28	6	—	
領域専門科目	心理学概論 I	1	2	○	○	
	世界の文化	1	2	○	○	
	データサイエンス1	1	2	○	○	
	小計単位数	—	6	6	6	—
ゼミ	サイコロジカルサービス専門ゼミナール1	3	2	選択必修 6単位以上	選択必修 6単位以上	選択必修 6単位以上
	サイコロジカルサービス専門ゼミナール2	3	2			
	グローバルスタディーズ専門ゼミナール1	3	2			
	グローバルスタディーズ専門ゼミナール2	3	2			
	メディアサイエンス専門ゼミナール1	3	2			
	メディアサイエンス専門ゼミナール2	3	2			
	卒業プロジェクト研究1	4	4			
	卒業プロジェクト研究2	4	4			
	小計単位数	—	6			
必修合計単位数			40	40	18	6

2026年度開講科目一覧表

(※1)3つのポリシー(D1,D2,D3)と授業の関連性を以下の3つの記号で表記しています。
◎:深く関連している、○:関連している、
—:◎や○と比較すると関連は弱い

対象学生:2026年度2・3年生

基礎科目														
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1				
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			D1	D2	D3		
BA1001	キリスト教概論1		講義	2		1	前期			高 誠		◎	◎	◎
BA2001	キリスト教概論2		講義	2		2~4	後期			高 誠		◎	◎	◎
BA1002	人間文化学		講義	2		1		○		難波道弘		◎	◎	◎
BA1101	基礎ゼミナール1(L:再履修クラス)	L	演習	2		1	前期			李 尚珍		◎	◎	◎
BA1102	基礎ゼミナール2(L:再履修クラス)	L	演習	2		1	後期			李 尚珍		◎	◎	◎
BA1103	ICTスキル1	A	演習	2		1	前期			大井奈美	◎	—	—	
		B								杉浦篤志				
		C								河本稔馨				
		D								天野早紀				
BA1104	ICTスキル2	A	演習	2		1	後期			大井奈美	◎	—	—	
		B								杉浦篤志				
		C								河本稔馨				
		D								天野早紀				
BA1105	英語1a(H:再履修クラス)	H	演習	2		1	前期			根木英彦		◎	◎	○
BA1106	英語1b(H:再履修クラス)	H	演習	2		1	前期			井上征剛		◎	◎	○
BA1107	英語1c(H:再履修クラス)	H	演習	2		1	後期			根木英彦		◎	◎	○
BA1108	英語1d(H:再履修クラス)	H	演習	2		1	後期			井上征剛		◎	◎	○
BA2101	英語2a	A	演習		2	2	前期			Granier	◎	◎	○	
		B								山本明歩				
		C								根木英彦				
BA2102	英語2b	A	演習		2	2	前期			Sutton	○	◎	○	
		B								Sanchez				
		C								Sanchez				
BA2103	英語2c	A	演習		2	2	後期		20	Brown	◎	◎	◎	
		B								根木英彦				
		C								白須康子				
		D								石橋 泰				
BA2104	英語2d	A	演習		2	2	後期		20	Granier	○	◎	○	
		B								Sanchez				
		C								白須康子				
BA3101	英語3a	A	演習		2	3・4	前期			Granier	◎	◎	○	
		B								山本明歩				
BA3102	英語3b	A	演習		2	3・4	後期			Granier	◎	◎	○	
		B								山本明歩				
BA4101	英語4a		演習	2	4					開講せず	◎	◎	○	
BA4102	英語4b		演習	2	4					開講せず	◎	◎	○	
BA1109	ドイツ語1		演習	2	1・2		前期			井上征剛		◎	◎	◎
BA1110	ドイツ語2		演習	2	1・2		後期			井上征剛		◎	◎	◎
BA1111	フランス語1		演習	2	1・2		前期			板井 仁		◎	◎	◎
BA1112	フランス語2		演習	2	1・2		後期			板井 仁		◎	◎	◎
BA1113	中国語1		演習	2	1		前期			劉 楠		○	◎	—
BA1114	中国語2		演習	2	1		後期			劉 楠		○	◎	—
BA2105	中国語3		演習	2	2		前期			劉 楠		○	◎	—
BA2106	中国語4		演習	2	2		後期			劉 楠		○	◎	—
BA1115	韓国語1	A	演習		2	1	前期			李 尚珍	◎	◎	○	
		B								高 誠				
BA1116	韓国語2	A	演習		2	1	後期			李 尚珍	◎	◎	○	
		B								高 誠				
BA2107	韓国語3		演習	2	2		前期			李 尚珍		◎	◎	○
BA2108	韓国語4		演習	2	2		後期			李 尚珍		◎	◎	○
BA1117	日本語スキル1 G:留学生クラス	A	演習	2		1	前期			天野早紀	◎	◎	—	
		B								小林一之				
		C								大井奈美				
		D								天野早紀				
		E								小林一之				
		F								高見研一				
		G								三井さや花				

基礎科目												
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3
BA1118	日本語スキル2 G:留学生クラス	A	演習	2	1		後期	天野早紀		◎	◎	—
		B						小林一之				
		C						大井奈美				
		D						天野早紀				
		E						小林一之				
		F						高見研一				
		G						三井さや花				
BA1119	日本語1a (留学生対象必修科目)	A	演習	2	1	前期	佐野正子		○	◎	—	
		B					高見研一					
BA1120	日本語1b (留学生対象必修科目)	A	演習	2	1	前期	高見研一		○	◎	—	
		B					三井さや花					
BA1121	日本語1c (留学生対象必修科目)	A	演習	2	1		後期	佐野正子		○	◎	—
		B					高見研一					
BA1122	日本語1d (留学生対象必修科目)	A	演習	2	1		後期	高見研一		○	◎	—
		B					三井さや花					
BA2109	日本語2a (留学生対象科目)	A	演習	2	2	前期	伊野波優美		○	◎	—	
		B					加藤敬介					
BA2110	日本語2b (留学生対象科目)	A	演習	2	2	前期	伊野波優美		○	◎	—	
		B					高見研一					
BA2111	日本語2c (留学生対象科目)	A	演習	2	2		後期	伊野波優美		○	◎	—
		B					加藤敬介					
BA2112	日本語2d (留学生対象科目)	A	演習	2	2		後期	井上敬子		○	◎	—
		B					高見研一					
BA3103	日本語3a (留学生対象科目)		演習	2	3	前期		井上敬子		◎	◎	—
BA3104	日本語3b (留学生対象科目)		演習	2	3	前期		伊野波優美		◎	◎	—
BA3105	日本語3c (留学生対象科目)		演習	2	3		後期	井上敬子		○	◎	—
BA3106	日本語3d (留学生対象科目)		演習	2	3		後期	伊野波優美		○	◎	—
BA0101	日本語演習1 (留学生対象科目)		演習	2	1~4	前期		井上敬子		○	◎	—
BA0102	日本語演習2 (留学生対象科目)		演習	2	1~4		後期	井上敬子		○	◎	—
BA2113	ビジネス日本語1 (留学生対象科目)		演習	2	2~4	前期		加藤敬介		◎	◎	○
BA2114	ビジネス日本語2 (留学生対象科目)		演習	2	2~4		後期	加藤敬介		◎	◎	○
BA2115	山梨学Ⅰ		演習	2	2	前期		小林一之		◎	○	◎
BA2116	山梨学Ⅱ		演習	2	2		後期	小林一之	30	◎	○	◎
BA0301	アジア短期留学Ⅰ		実習	2	1~4			開講せず		○	◎	◎
BA0302	アジア短期留学Ⅱ		実習	3	1~4			開講せず		◎	◎	○
BA2301	カナダ中期留学		実習	10	2~3			開講せず		◎	◎	○
BA2302	インターンシップ		実習	2	2~3		集中講義	難波道弘		◎	◎	◎
BA1301	英語圏短期留学Ⅰ		実習	2	1~3			開講せず		◎	◎	◎
BA2303	英語圏短期留学Ⅱ		実習	2	2~3			開講せず		○	◎	◎

領域専門科目(サイコロジカル・サービス)

ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3
PS1001	心理学概論Ⅰ		講義	2		1	前期	梶館尚武		◎	○	—
PS1002	心理学概論Ⅱ		講義		2	1	後期	佐柳信男		◎	○	—
PS1003	公認心理師の職責		講義		2	1・2	前期	加藤 仁		◎	◎	○
PS2001	知覚・認知心理学Ⅰ		講義		1	2	○	須永範明		◎	—	—
PS2002	知覚・認知心理学Ⅱ		講義		1	2	○	須永範明		◎	—	—
PS2003	学習・言語心理学Ⅰ		講義		1	2	○	梶館尚武		○	○	—
PS2004	学習・言語心理学Ⅱ		講義		1	2	○	梶館尚武		○	○	—
PS2005	教育心理学		講義		2	2	前期	梶館尚武		○	○	○
PS2006	発達心理学		講義		2	2	前期	佐柳信男		◎	○	○
PS2007	社会・集団・家族心理学Ⅰ		講義		1	2	○	須永範明		◎	○	○
PS2008	社会・集団・家族心理学Ⅱ		講義		1	2	○	新居みちる		—	◎	○
PS2009	臨床心理学概論		講義		2	2	前期	新居みちる		◎	◎	○
PS2010	感情・人格心理学Ⅰ		講義		1	2	○	須永範明		○	○	—
PS2011	感情・人格心理学Ⅱ		講義		1	2	○	石橋 泰		◎	◎	○
PS2012	心理学的支援法Ⅰ		講義		2	2	後期	三國牧子		◎	◎	○
PS2013	福祉心理学		講義		2	2	前期	小林真理子		◎	○	◎
PS2014	健康・医療心理学		講義		2	2	前期	桑本佳代子		◎	◎	○
PS2015	人体の構造と機能及び疾病		講義		2	2	後期	青柳閣郎	100	◎	—	—
								石井佐綾香				
								後藤裕介				
PS2016	心理学統計法		講義		2	2	前期	梶館尚武		○	○	—
PS2017	心理学研究法		講義		2	2	前期	佐柳信男		◎	◎	◎
PS2201	心理学実験(2時間連続授業)	A	実験		2	2	後期	加藤 仁	16	◎	◎	◎
								小田友理恵				
		B						加藤 仁	16			
		小田友理恵										
PS2101	心理学データ分析演習Ⅰ		講義・演習		1	2	○	梶館尚武	30	○	○	—
PS2102	心理学データ分析演習Ⅱ		講義・演習		1	2	○	梶館尚武	30	○	○	—
PS3001	心理的アセスメント		講義		2	3	前期	黒田浩司		◎	◎	—
								村部妙美				
PS3101	心理演習Ⅰ(2時間連続授業)	A	演習		2	3	前期	三國牧子	12	◎	◎	○
		B						小田友理恵	12			
PS3102	心理演習Ⅱ(2時間連続授業)	A	演習		2	3	集中講義	黒田浩司	12	◎	◎	◎
		B					後期	高澤知子	12			
PS3103	Psychology in English		演習		2	3	後期	佐柳信男	20	◎	◎	○
PS2018	神経・生理心理学		講義		2	2	前期	須永範明		◎	—	—
PS2019	障害者・障害児心理学		講義		2	2	後期	中嶋 彩		◎	◎	○
PS3002	心理学的支援法Ⅱ		講義		2	3	後期	小田友理恵		◎	◎	○
PS3003	教育・学校心理学		講義		2	3	前期	加藤 仁		○	○	—
PS3004	司法・犯罪心理学		講義		2	3	後期	西田俊男		○	○	—
PS3005	産業・組織心理学		講義		2	3	集中講義	高崎真理		○	◎	○
PS3006	精神疾患とその治療		講義		2	3	集中講義	三好智浩		◎	○	○
PS3007	関係行政論		講義		2	3	後期	小林真理子		◎	◎	○
								桶川 隆				
PS3008	コミュニティワーク		講義		2	3	前期	桶川 隆		◎	○	◎
PS4301	心理実習Ⅰ		実習		1	4		開講せず		◎	◎	○
PS4302	心理実習Ⅱ		実習		2	4		開講せず		◎	◎	◎
PS2103	サイコロジカルサービス導入ゼミナール		演習		2	2	前期	新居みちる	20	◎	◎	○
								梶館尚武				

領域専門科目(グローバル・スタディーズ)														
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1				
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			D1	D2	D3		
GS1001	世界の文化		講義	2		1		後期		井上征剛 山本明歩		◎	○	◎
GS2101	ヨーロッパの社会と文化	A B	演習		2	2		前期		井上 征剛 板井 仁		◎	◎	◎
GS2102	アジアの社会と文化	A B	演習		2	2		後期	10	劉 楠 李 尚珍		◎	◎	○
GS2103	民族と社会 I		講義・演習		2	2		後期		劉 楠		○	○	◎
GS2104	民族と社会 II		講義・演習		2	2		後期		李 尚珍		◎	◎	○
GS2001	宗教と思想		講義		2	2		前期		高 誠		◎	◎	◎
GS2002	英語学概論		講義		2	2		前期		星野真理		◎	◎	◎
GS2003	英語の文法		講義		2	2		後期		星野真理		◎	◎	○
GS2004	英語音声学		講義		2	2		前期	20	Brown		◎	○	—
GS2005	日本語学概論		講義		2	2		前期		木村寛子		◎	◎	—
GS2006	日本語表現論		講義		2	2		後期		木村寛子		◎	◎	—
GS2105	日本語表現演習(B:留学生クラス)	A B	演習		2	2		後期		木村寛子 伊野波優美		○	◎	—
GS2007	日本の文学		講義		2	2		後期		天野早紀		◎	◎	—
GS2008	日本文学史		講義		2	2		前期		伊野波優美		◎	◎	—
GS2009	日本文化論		講義		2	2		前期		天野早紀		◎	○	○
GS2010	音楽史・音楽学		講義		2	2		前期		井上征剛		◎	—	○
GS2011	舞台芸術論		講義		2	2		前期		井上征剛		◎	○	◎
GS2012	経済学I(オンライン開講)		講義		2	2		前期		吉田 惇		◎	○	—
GS2013	経営学I		講義		2	2		後期		野村 魁		◎	○	—
GS2014	社会学		講義		2	2		前期		田辺 龍		◎	◎	○
GS3001	ジェンダー論		講義		2	3		前期		劉 楠		◎	◎	◎
GS3002	人間と文明		講義		2	2		後期		山本 明歩		◎	○	◎
GS3003	社会言語学		演習		2	2		前期		布村 猛		◎	◎	—
GS3101	Globalization and Culture I		講義・演習		2	3		前期		Brown		◎	○	○
GS3102	Globalization and Culture II		講義・演習		2	3		後期		Brown		◎	○	○
GS3103	Presentations in English		演習		2	3		前期		星野真理		◎	◎	◎
GS3104	Business English		演習		2	3		後期		Sutton		◎	◎	—
GS2015	日本語の文法		講義		2	2		前期		木村寛子		◎	◎	—
GS2016	日本語文法研究		講義		2	2		後期		木村寛子		◎	◎	—
GS2017	日本語の音声		講義		2	2		前期		布村 猛		◎	○	—
GS2018	日本語教育概論		講義		2	2		前期		井上敬子		◎	◎	—
GS2019	日本語教授法1		講義		2	2		後期		三井さや花		○	◎	—
GS3004	現代の日本語		講義		2	3		後期		高見研一		◎	○	—
GS3005	近現代文学論		講義		2	3		後期		伊野波優美		◎	◎	—
GS3105	現代文化論		講義・演習		2	3		後期		足立加勇		◎	◎	—
GS3106	児童文学講読		演習		2	3		後期	30	井上征剛		◎	○	○
GS3107	創作と表現		演習		2	3		後期		中田真弘		◎	◎	—
GS3006	経済学II(オンライン開講)		講義		2	3		後期		吉田 惇		◎	○	—
GS3007	経営学II		講義		2	3		前期		野村 魁		◎	◎	○
GS3009	マーケティング論		講義		2	3				開講せず		◎	○	—
GS3010	国際交流論		講義		2	3		前期		李 尚珍		◎	◎	○
GS3011	国際関係論		講義		2	3		後期		吉田 均		◎	◎	—
GS3108	Global Issues		演習		2	3		前期	15	内田光枝		◎	◎	○
GS3109	Public Speaking and Debating in English		演習		2	3		後期		星野真理		◎	◎	◎
GS3012	日本語教授法2		講義		2	3		前期		三井さや花		◎	◎	—
GS3110	日本語教授法演習(実習含む)		演習		2	3		後期		三井さや花		◎	◎	—
GS3013	現代芸術論		講義		2	3		前期	50	井坂健一郎		◎	◎	—
GS3014	表象文化論		講義		2	3		後期	30	板井 仁		◎	◎	○
GS3015	比較文化・思想論		講義		2	3		前期		井上征剛		◎	◎	○
GS3111	地域研究・実践論		講義・演習		2	3		後期	40	井上征剛		◎	○	—
GS3016	グローバル経済論		講義		2	3				開講せず		◎	○	○
GS3017	グローバル経営論		講義		2	3		後期		今井 久		◎	◎	○
GS2107	グローバルスタディーズ 導入ゼミナール		演習		2	2		前期	20	山本明歩 根木英彦		◎	◎	○

領域専門科目(メディア・サイエンス)												
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3
MS1001	データサイエンス1	講義	2		1	前期		杉浦篤志		◎	◎	—
MS1101	データサイエンス2	演習		2	1		後期	杉浦篤志		◎	—	—
MS1102	プログラミングI	演習		2	1		後期	難波道弘		◎	◎	—
MS2101	プログラミングII	演習		2	2	前期		難波道弘		◎	—	—
MS2001	メディアサイエンス概論	講義	2	2	前期			難波道弘		◎	○	○
								杉浦篤志				
								河本穂馨				
MS2002	ネットワークとセキュリティ	講義	2	2		後期	杉浦篤志		◎	◎	—	
MS2003	情報数理I	講義	2	1	前期		杉浦篤志		◎	◎	—	
MS2004	情報数理II	講義	2	1		後期	野村 魁		◎	◎	—	
MS2102	データナリティクス I	演習		2	2	前期		杉浦篤志		◎	○	—
MS2103	データナリティクスII	演習		2	3			開講せず		◎	◎	—
MS2005	知的財産権と情報倫理	講義	2	2	前期			河本穂馨		◎	◎	◎
MS2006	コンピュータシステムI	講義	2	2		後期		難波道弘		◎	○	—
MS2104	メディアプロジェクトI	演習		2	2	前期		杉浦篤志		◎	◎	—
MS2007	アルゴリズムとデータ構造I	講義	2	2		後期		難波道弘		◎	○	—
MS2008	アルゴリズムとデータ構造II	講義	2	3				開講せず		◎	○	—
MS3001	コンピュータシステムII	講義	2	3	前期			難波道弘		◎	○	—
MS2010	プロジェクトマネジメント	講義	2	2				開講せず		◎	○	—
MS3101	ICT English	演習	2	3				開講せず		◎	○	◎
MS3102	メディアプロジェクトII	演習		2	3		○	難波道弘		◎	◎	○
MS2105	メディア論	講義・演習	2	2				開講せず		◎	◎	○
MS2106	メディアサイエンス特講 I	講義・演習	2	2				開講せず		◎	○	—
MS2107	メディアサイエンス特講 II	講義・演習		2	2		後期	内田奈津子		◎	◎	○
MS2108	メディアサイエンス導入ゼミナール	演習		2	2		後期	難波道弘		◎	◎	○
								大井奈美				

領域専門科目(融合領域科目)												
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		2025年度担当者(案)	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3
IN2001	多文化共生論	講義		2	2	前期		三井さや花 根木英彦		◎	◎	○
IN2101	サービスラーニング	演習		2	2・3		後期	内田奈津子	40	◎	◎	◎
IN3001	芸術と心理療法	講義		2	3・4	前期		石橋 泰		◎	◎	○
								李 尚珍				
								井上征剛				
								新居みちる				
IN3002	意思決定論(オンライン開講)	講義	2	3・4		後期	後藤 晶		◎	◎	○	
IN3003	子どもと文化	講義		2	3・4		○	井上征剛		◎	—	◎
								森 稚葉				
IN3004	高齢者の心理と健康	講義・演習	2	3・4				開講せず		◎	◎	◎
IN3101	サービス・サイエンスとCCRC	演習		2	3・4		後期	和田典子		◎	○	—
								佐藤文昭				
								宇佐美 淳				
IN3102	地域課題研究	演習		2	3・4	前期		井上征剛		◎	◎	◎
								佐藤文昭				
								宇佐美 淳				
IN3103	子育て支援実践演習	演習	1	3・4				開講せず		◎	◎	◎

領域専門科目(ゼミ)													
ナンバリングコード	科目名		区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
				必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3
PS3104	サイコソジカルサービス 専門ゼミナール1	A	演習		2	3	前期		新居みちる		◎	◎	○
		B							小田友理恵				
		C							加藤 仁				
		D							桑本佳代子				
		E							小林真理子				
		F							佐柳信男				
		G							槻館尚武				
		H							三國牧子				
PS3105	サイコソジカルサービス 専門ゼミナール2	A	演習		2	3	後期		新居みちる		◎	◎	○
		B							小田友理恵				
		C							加藤 仁				
		D							桑本佳代子				
		E							小林真理子				
		F							佐柳信男				
		G							槻館尚武				
		H							三國牧子				
GS3112	グローバルスタディーズ 専門ゼミナール1	A	演習		2	3	前期		天野早紀		◎	◎	○
		B							李 尚珍				
		C							井上征剛				
		D							伊野波優美				
		E							高 誠				
		F							小林一之				
		G							高見研一				
		H							根木英彦				
		I							D.Brown				
		J							三井さや花				
		K							山本明歩				
		L							劉 楠				
GS3113	グローバルスタディーズ 専門ゼミナール2	A	演習		2	3	前期		天野早紀		◎	◎	○
		B							李 尚珍				
		C							井上征剛				
		D							伊野波優美				
		E							高 誠				
		F							小林一之				
		G							高見研一				
		H							根木英彦				
		I							D.Brown				
		J							三井さや花				
		K							山本明歩				
		L							劉 楠				
MS3103	メディアサイエンス 専門ゼミナール1	A	演習		2	3	前期		河本穂馨		◎	◎	○
		B							杉浦篤志				
		C							難波道弘				
MS3104	メディアサイエンス 専門ゼミナール2	A	演習		2	3	後期		河本穂馨		◎	◎	○
		B							杉浦篤志				
		C							難波道弘				
SE4101	卒業プロジェクト研究1		演習		4	4			開講せず		◎	◎	○
SE4102	卒業プロジェクト研究2		演習		4	4			開講せず		◎	◎	○

オープン科目												
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3
OP1001	聖書学	講義		2	1・2		後期	高 誠		○	◎	○
OP3001	日本文学講読Ⅰ	講義		2	3・4	前期		天野早紀		◎	◎	—
OP3002	日本文学講読Ⅱ	講義		2	3・4		後期	小林一之		◎	○	○
OP2001	英米文学史(オンライン開講)	講義		2	2・3		後期	佐取愛香		◎	◎	○
OP2002	英米文学講読(オンライン開講)	講義		2	2・3		後期	佐取愛香		◎	◎	○
OP2003	まんが論	講義		2	2・3	前期		高見研一		◎	◎	—
OP3003	情報と職業	講義		2	3・4		後期	和田典子		◎	○	—
OP1002	美術の表現	講義		2	1・2	前期		李 尚珍		◎	◎	○
OP1101	造形と制作	演習		2	1・2		後期	井坂健一郎	20	○	○	—
OP2101	演技と発声	演習		2	2・3		後期	中田真弘	24	○	◎	—
OP1003	健康スポーツ論	講義		2	1	前期		木内政孝		◎	—	—
OP1401	スポーツ実技	実技		1	1		後期	金澤翔一	16	○	◎	—
OP1004	日本国憲法	講義		2	1	前期		山内幸雄		◎	◎	—
OP3004	漢文学	講義		2	3・4	前期		遠藤秀紀	20	◎	○	—
OP2102	書道	演習		2	2・3			開講せず		◎	○	—
OP0101	英会話Ⅰ	演習		2	1~4	前期		Sutton	20	○	◎	○
OP0102	英会話Ⅱ	演習		2	1~4		後期	Sutton	20	○	◎	○
OP2103	文化観光の英語	演習		2	2		後期	Granier		○	◎	—
OP0103	山梨の地場産業	講義・演習		2	1~4	前期		今井 久		◎	◎	○
OP0104	縄文文化と山梨	講義・演習		1	1~4		○	長澤宏昌	20	◎	○	—
OP0105	地域づくりの理論と実践	講義・演習		1	1~4			開講せず		◎	○	—
OP2104	ローカルツーリズム論	講義・演習		2	2~4			開講せず		◎	◎	○
OP1102	外国語特別演習	講義・演習		2	1	前期		根木英彦		○	◎	◎
OP0106	特別講義Ⅰ	講義・演習		1	1~4	○		塚本俊也		○	○	—
OP0107	特別講義Ⅱ	講義・演習		2	1~4		後期	李 尚珍 天野早紀		○	○	—
OP0001	数学の基礎	講義		2	1~4	前期		杉浦篤志		◎	—	—
OP0002	社会学の基礎	講義		2	1~4		後期	田辺 龍		◎	◎	○
OP2005	生涯学習概論	講義		2	2	前期		大井奈美		◎	◎	○
OP1005	図書館サービス概論	講義		2	1		後期	河本穂馨		◎	◎	◎

2026年度公認心理師課程プログラム科目一覧表

対象学生:2026年度2・3年生

公認心理師課程プログラムに関する科目					
公認心理師法施行規則(平成29年 文部科学省・厚生労働省令第3号) に定める科目	本学開講科目	区分	単位数 (必修)	履修年次	備考
1. 公認心理師の職責	公認心理師の職責	講義	2	1・2	前掲
2. 心理学概論	心理学概論Ⅰ	講義	2	1	前掲
	心理学概論Ⅱ	講義	2	1	前掲
3. 臨床心理学概論	臨床心理学概論	講義	2	2	前掲
4. 心理学研究法	心理学研究法	講義	2	2	前掲
5. 心理学統計法	心理学統計法	講義	2	2	前掲
6. 心理学実験	心理学実験	実験	2	2	前掲
7. 知覚・認知心理学	知覚・認知心理学Ⅰ	講義	1	2	前掲
	知覚・認知心理学Ⅱ	講義	1	2	前掲
8. 学習・言語心理学	学習・言語心理学Ⅰ	講義	1	2	前掲
	学習・言語心理学Ⅱ	講義	1	2	前掲
9. 感情・人格心理学	感情・人格心理学Ⅰ	講義	1	2	前掲
	感情・人格心理学Ⅱ	講義	1	2	前掲
10. 神経・生理心理学	神経・生理心理学	講義	2	2	前掲
11. 社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学Ⅰ	講義	1	2	前掲
	社会・集団・家族心理学Ⅱ	講義	1	2	前掲
12. 発達心理学	発達心理学	講義	2	2	前掲
13. 障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	講義	2	2	前掲
14. 心理的アセスメント	心理的アセスメント	講義	2	3	前掲
15. 心理学的支援法	心理学的支援法Ⅰ	講義	2	2	前掲
	心理学的支援法Ⅱ	講義	2	3	前掲
16. 健康・医療心理学	健康・医療心理学	講義	2	2	前掲
17. 福祉心理学	福祉心理学	講義	2	2	前掲
18. 教育・学校心理学	教育・学校心理学	講義	2	3	前掲
19. 司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	講義	2	3	前掲
20. 産業・組織心理学	産業・組織心理学	講義	2	3	前掲
21. 人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	講義	2	2	前掲
22. 精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	講義	2	3	前掲
23. 関係行政論	関係行政論	講義	2	3	前掲
24. 心理演習	心理演習Ⅰ	演習	2	3	前掲
	心理演習Ⅱ	演習	2	3	前掲
25. 心理実習(80時間以上)	心理実習Ⅰ	実習	1	4	開講せず
	心理実習Ⅱ	実習	2	4	開講せず

修了要件単位数:57単位

2026年度司書課程プログラム科目一覧表

対象学生：2026年度2・3年生

※留学生は司書課程の受講はできません

(※1)3つのポリシー(D1,D2,D3)と授業の関連性を以下の3つの記号で表記しています。
◎：深く関連している、○：関連している、
—：◎や○と比較すると関連は弱い

司書課程プログラムに関する科目													
	ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	備考	ポリシーと授業の関連 ※1		
				必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			D1	D2	D3
必修科目	OP2005	生涯学習概論	講義	2		2	前期		大井奈美		◎	◎	○
	QL2001	図書館概論	講義	2		2	前期		河本稔馨	卒業要件対象外	◎	◎	◎
	QL3001	図書館制度・経営論	講義	2		3	集中講義		根本 彰	卒業要件対象外	◎	○	—
	QL3002	図書館情報技術論	講義	2		3		後期	河本稔馨	卒業要件対象外	◎	◎	○
	OP1005	図書館サービス概論	講義	2		1		後期	河本稔馨		○	○	○
	QL2002	情報サービス論	講義	2		2		後期	河本稔馨	卒業要件対象外	○	○	○
	QL3003	児童サービス論	講義	2		3	集中講義		伊藤明美	卒業要件対象外	○	○	○
	QL3101	情報サービス演習Ⅰ	演習	1		3	前期		日向良和	卒業要件対象外	○	○	○
	QL3102	情報サービス演習Ⅱ	演習	1		3		後期	玉木圭子	卒業要件対象外	○	○	○
	QL2003	図書館情報資源概論	講義	2		2		後期	日向良和	卒業要件対象外	○	○	○
	QL2004	情報資源組織論	講義	2		2	前期		玉木圭子	卒業要件対象外	◎	○	—
	QL3103	情報資源組織演習Ⅰ	演習	1		3	前期		玉木圭子	卒業要件対象外	◎	○	—
	QL3104	情報資源組織演習Ⅱ	演習	1		3		後期	玉木圭子	卒業要件対象外	◎	○	—
	選択科目	QL3004	図書館基礎特論	講義		1	3	○		河本稔馨	選択必修 2科目2単位選択 卒業要件対象外	◎	○
QL3005		図書館サービス特論	講義		1	3			河本稔馨	◎		○	○
QL3006		図書館情報資源特論	講義		1	3		○	河本稔馨	◎		○	◎
QL3007		図書・図書館史(オンライン開講)	講義		1	3		○	河村俊太郎	○		○	○

修了要件単位数：24単位

2026年度英語強化プログラム科目一覧表

対象学生：2026年度2・3年生

英語強化プログラムに関する科目										
科目名	区分	単位数		履修年次	期間				担当者	備考
		必修	選択		前期 1Q・2Q		後期 3Q・4Q			
英語1a		演習	2		1					前掲
英語1b		演習	2		1					前掲
英語1c		演習	2		1					前掲
英語1d		演習	2		1					前掲
英語2a		演習	2		2					前掲
英語2b		演習	2		2					前掲
英語2c		演習	2		2					前掲
英語2d		演習	2		2					前掲
英語3a		演習	2		3・4					前掲
英語3b		演習	2		3・4					前掲
英語4a		演習	2		4					開講せず
英語4b		演習	2		4					開講せず
英会話Ⅰ		演習	2		1～4					前掲
英会話Ⅱ		演習	2		1～4					前掲
文化観光の英語		演習		2	2					前掲

※カナダ中期留学の単位取得者は留学に参加する学年に応じて以下のとおりプログラムの必修科目を免除する。

2年生：英語2a・英語2b

3年生：英語3a

4年生：英語4a

※オーストラリア長期留学での単位取得者は英語2a・英語2b・英語2c・英語2dを免除

※本プログラムの修了は別途定めるTOEICスコアの取得が必要

※2年次転入生、3年次編転入生が本プログラムの履修を希望する場合は、1年次必修科目（英語1a～英語1d）を免除する。（必修科目「英語1a～英語1d」を履修したものとみなし、合計修了要件は20単位とする。）

修了要件単位数：28単位

2026年度データサイエンス基礎プログラム科目一覧表

対象学生:2026年度2・3年生(編転入学生は対象外)

データサイエンス基礎プログラムに関する科目										
科目名	区分	単位数		履修年次	期間				担当者	備考
		必修	選択		前期		後期			
					1Q・2Q	3Q・4Q	3Q・4Q			
ICTスキル1	演習	2		1					前掲	
ICTスキル2	演習	2		1					前掲	
データサイエンス1	講義	2		1					前掲	

修了要件単位数:6単位

2026年度データサイエンス応用プログラム科目一覧表

対象学生：2026年度2・3年生

データサイエンス応用プログラムに関する科目										
科目名	区分	単位数		履修年次	期間				担当者	備考
		必修	選択		前期 1Q・2Q		後期 3Q・4Q			
ICTスキル1	演習	2		1					前掲	
ICTスキル2	演習	2		1					前掲	
データサイエンス1	講義	2		1					前掲	
データサイエンス2	演習	2		1					前掲	
メディアサイエンス概論	講義	2		2					前掲	
知的財産権と情報倫理	演習		2	2					前掲	
プログラミング I	演習		2	1					前掲	
情報数理 I	講義		2	1					前掲	
情報数理 II	講義		2	1					前掲	
アルゴリズムとデータ構造 I	講義		2	2					前掲	

修了要件単位数：14単位

2026年度日本語教師養成プログラム科目一覧表

対象学生：2026年度2・3年生

日本語教師養成課程に関する科目										
	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	備考	
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			
言語と教育	日本語教育概論	講義	2		2				前掲	8単位以上
	日本語教授法1	講義	2		2				前掲	
	日本語教授法2	講義	2		3				前掲	
	日本語教授法演習(実習含む)	演習	2		3				前掲	
言語一般	日本語学概論	講義	2		2				前掲	8単位以上
	日本語文法研究	講義	2		2				前掲	
	日本語の音声	講義	2		2				前掲	
	日本語表現論	演習		2	2				前掲	
	日本語表現演習	講義		2	2				前掲	
	現代の日本語	講義		2	3				前掲	
	日本語の文法	講義		2	2				前掲	
言語と心理	知覚・認知心理学Ⅰ	講義		1	2				前掲	2単位以上
	知覚・認知心理学Ⅱ	講義		1	2				前掲	
	学習・言語心理学Ⅰ	講義		1	2				前掲	
	学習・言語心理学Ⅱ	講義	1		2				前掲	
	教育心理学	講義		2	2				前掲	
言語と社会	社会言語学	演習	2		2				前掲	4単位以上
	多文化共生論	講義		2	2				前掲	
	Globalization and CultureⅠ	講義		2	3				前掲	
	Globalization and CultureⅡ	講義		2	3				前掲	
	民族と社会Ⅰ	講義		2	2				前掲	
	民族と社会Ⅱ	講義		2	2				前掲	
社会・文化・地域	国際関係論	講義		2	3				前掲	4単位以上
	国際交流論	講義		2	3				前掲	
	日本文化論	講義		2	2				前掲	
	比較文化・思想論	講義		2	3				前掲	

科目区分ごとの必要単位数を満たし、さらに合計26単位以上を修得すること。

修了要件単位数：26単位

2026年度山梨地域コーディネーター養成プログラム科目一覧表

対象学生：2026年度2・3年生

山梨地域コーディネーター養成プログラムに関する科目											
	科目名	区分	単位数		履修年次	期間				担当者	備考
			必修	選択		前期		後期			
						1Q・2Q	3Q・4Q	3Q・4Q			
地域教養科目	山梨学Ⅰ	演習	2		2					前掲	6単位以上
	山梨学Ⅱ	演習	2		2					前掲	
	サービスラーニング	演習	2		2・3					前掲	
	心理学概論Ⅱ	講義		2	1					前掲	
	メディアサイエンス概論	講義		2	2					前掲	
	縄文文化と山梨	講義・演習		1	1～4					前掲	
	地域づくりの理論と実践	講義・演習		1	1～4					開講せず	
専門基礎科目	文化観光の英語	演習		2	2					前掲	6単位以上
	ローカルツーリズム論	講義・演習		2	2～4					開講せず	
	山梨の地場産業	講義・演習		2	1～4					前掲	
	発達心理学	講義		2	2					前掲	
	心理学的支援法Ⅰ	講義		2	2					前掲	
	障害者・障害児心理学	講義		2	2					前掲	
	高齢者の心理と健康	講義		2	3・4					開講せず	
	社会学	講義		2	2					前掲	
	経営学Ⅰ	講義		2	2					前掲	
	経営学Ⅱ	講義		2	3					前掲	
	経済学Ⅰ	講義		2	2					前掲	
	経済学Ⅱ	講義		2	3					前掲	
	マーケティング論	講義		2	3					開講せず	
専門発展科目	サービスサイエンスとCCRC	演習		2	3・4					前掲	4単位以上
	地域課題研究	演習		2	3・4					前掲	
	インターンシップ	実習		2	2・3					前掲	

科目区分ごとの必要単位数を満し、さらに合計20単位以上を修得すること。

※3年次編転入生が本プログラムの履修を希望する場合は、2年次必修科目(山梨学Ⅰ)を免除する。(必修科目「山梨学Ⅰ」を履修したものとみなし、合計修了要件は18単位とする。)

※次のコンソーシアム科目については学則30条の規程により取得した単位を「専門発展科目」として必要単位数に加えることができる。

・フューチャーサーチ(2単位) ※2025年度まで開講

修了要件単位数：20単位

履修登録上限対象外科目一覧表

卒業要件に含まれるもの ※登録上限単位には含まず、卒業要件となる科目			
科目名	単位数		履修年次
	必修	選択	
アジア短期留学Ⅰ		2	1～4
アジア短期留学Ⅱ		3	1～4
インターンシップ		2	2・3
英語圏短期留学Ⅰ		2	1～3
英語圏短期留学Ⅱ		2	2・3

卒業要件に含まれないもの ※登録上限単位には含まず、資格要件のみとなる科目			
科目名	単位数		履修年次
	必修	選択	
図書館概論	2		2
図書館制度・経営論	2		3
図書館情報技術論	2		3
情報サービス論	2		2
児童サービス論	2		3
情報サービス演習Ⅰ	1		3
情報サービス演習Ⅱ	1		3
図書館情報資源概論	2		2
情報資源組織論	2		2
情報資源組織演習Ⅰ	1		3
情報資源組織演習Ⅱ	1		3
図書館基礎特論		1	3
図書館サービス特論		1	3
図書館情報資源特論		1	3
図書・図書館史		1	3

必修科目一覧表

○は必修科目として履修する科目

区分	科目名	履修年次	単位数	1年次入学生	2年次転入生	3年次編入生
基礎科目	キリスト教概論1	1	2	○	○	
	キリスト教概論2 *2~4年次	2~4	2	○	○	
	人間文化学	1	2	○		
	基礎ゼミナール1	1	2	○		
	基礎ゼミナール2	1	2	○		
	ICTスキル1	1	2	○		
	ICTスキル2	1	2	○		
	英語1a ※留学生は「日本語1a」を履修	1	2	○		
	英語1b ※留学生は「日本語1b」を履修	1	2	○		
	英語1c ※留学生は「日本語1c」を履修	1	2	○		
	英語1d ※留学生は「日本語1d」を履修	1	2	○		
	日本語スキル1	1	2	○		
	日本語スキル2	1	2	○		
	山梨学 I	2	2	○	○	
小計単位数	—	28	28	6	—	
領域専門科目	心理学概論 I	1	2	○	○	
	世界の文化	1	2	○	○	
	データサイエンス1	1	2	○	○	
	小計単位数	—	6	6	6	—
ゼミ	サイコロジカルサービス専門ゼミナール1	3	2	選択必修 6単位以上	選択必修 6単位以上	選択必修 6単位以上
	サイコロジカルサービス専門ゼミナール2	3	2			
	グローバルスタディーズ専門ゼミナール1	3	2			
	グローバルスタディーズ専門ゼミナール2	3	2			
	メディアサイエンス専門ゼミナール1	3	2			
	メディアサイエンス専門ゼミナール2	3	2			
	卒業プロジェクト研究1	4	4			
	卒業プロジェクト研究2	4	4			
小計単位数	—	6				
必修合計単位数			40	40	18	6

2026年度開講科目一覧表

対象学生：2026年度4年生

(※1)3つのポリシー(D1,D2,D3)と授業の関連性を以下の3つの記号で表記しています。
◎：深く関連している、○：関連している、—：◎や○と比較すると関連は弱い

ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者(案)	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3
BA1001	キリスト教概論1		講義	2		1	前期	高 誠		◎	◎	◎
BA2001	キリスト教概論2		講義	2		2~4	後期	高 誠		◎	◎	◎
BA1002	人間文化学		講義	2		1	○	難波道弘		◎	◎	◎
BA1101	基礎ゼミナール1(L:再履修クラス)	L	演習	2		1	前期	李 尚珍		◎	◎	◎
BA1102	基礎ゼミナール2(L:再履修クラス)	L	演習	2		1	後期	李 尚珍		◎	◎	◎
BA1103	ICTスキル1	A	演習	2		1	前期	大井奈美		◎	—	—
		B						杉浦篤志				
		C						河本穂馨				
		D						天野早紀				
BA1104	ICTスキル2	A	演習	2		1	後期	大井奈美		◎	—	—
		B						杉浦篤志				
		C						河本穂馨				
		D						天野早紀				
BA1105	英語1a(H:再履修クラス)	H	演習	2		1	前期	根木英彦		◎	◎	○
BA1106	英語1b(H:再履修クラス)	H	演習	2		1	前期	井上征剛		◎	◎	○
BA1107	英語1c(H:再履修クラス)	H	演習	2		1	後期	根木英彦		◎	◎	○
BA1108	英語1d(H:再履修クラス)	H	演習	2		1	後期	井上征剛		◎	◎	○
BA2101	英語2a	A	演習		2	2	前期	Granier		◎	◎	○
		B						山本明歩				
		C						根木英彦				
BA2102	英語2b	A	演習		2	2	前期	Sutton		○	◎	○
		B						Sanchez 20				
		C						Sanchez				
BA2103	英語2c	A	演習		2	2	後期	Brown 20		◎	◎	◎
		B						根木英彦				
		C						白須康子 20				
		D						石橋 泰				
BA2104	英語2d	A	演習		2	2	後期	Granier		○	◎	○
		B						Sanchez				
		C						白須康子 20				
BA3101	英語3a	A	演習		2	3・4	前期	Granier		◎	◎	○
		B						山本明歩				
BA3102	英語3b	A	演習		2	3・4	後期	Granier		◎	◎	○
		B						山本明歩				
BA4101	英語4a		演習		2	4	前期	山本明歩		◎	◎	○
BA4102	英語4b		演習		2	4	後期	山本明歩		◎	◎	○
BA1109	ドイツ語1		演習		2	1・2	前期	井上征剛		◎	◎	◎
BA1110	ドイツ語2		演習		2	1・2	後期	井上征剛		◎	◎	◎
BA1111	フランス語1		演習		2	1・2	前期	板井 仁		◎	◎	◎
BA1112	フランス語2		演習		2	1・2	後期	板井 仁		◎	◎	◎
BA1113	中国語1		演習		2	1	前期	劉 楠		○	◎	—
BA1114	中国語2		演習		2	1	後期	劉 楠		○	◎	—
BA2105	中国語3		演習		2	2	前期	劉 楠		○	◎	—
BA2106	中国語4		演習		2	2	後期	劉 楠		○	◎	—
BA1115	韓国語1	A	演習		2	1	前期	李 尚珍		◎	◎	○
		B						高 誠				
BA1116	韓国語2	A	演習		2	1	後期	李 尚珍		◎	◎	○
		B						高 誠				
BA2107	韓国語3		演習		2	2	前期	李 尚珍		◎	◎	○
BA2108	韓国語4		演習		2	2	後期	李 尚珍		◎	◎	○
BA1117	日本語スキル1 G:留学生クラス	A	演習	2		1	前期	天野早紀		◎	◎	—
		B						小林一之				
		C						大井奈美				
		D						天野早紀				
		E						小林一之				
		F						高見研一				
		G						三井さや花				

基礎科目												
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者(案)	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3
BA1118	日本語スキル2 G: 留学生クラス	A	演習	2	1		後期	天野早紀		◎	◎	—
		B						小林一之				
		C						大井奈美				
		D						天野早紀				
		E						小林一之				
		F						高見研一				
		G						三井さや花				
BA1119	日本語1a (留学生対象必修科目)	A	演習	2	1	前期		佐野正子		○	◎	—
		B						高見研一				
BA1120	日本語1b (留学生対象必修科目)	A	演習	2	1	前期		高見研一		○	◎	—
		B						三井さや花				
BA1121	日本語1c (留学生対象必修科目)	A	演習	2	1		後期	佐野正子		○	◎	—
		B						高見研一				
BA1122	日本語1d (留学生対象必修科目)	A	演習	2	1		後期	高見研一		○	◎	—
		B						三井さや花				
BA2109	日本語2a (留学生対象科目)	A	演習	2	2	前期		伊野波優美		○	◎	—
		B						加藤敬介				
BA2110	日本語2b (留学生対象科目)	A	演習	2	2	前期		伊野波優美		○	◎	—
		B						高見研一				
BA2111	日本語2c (留学生対象科目)	A	演習	2	2		後期	伊野波優美		○	◎	—
		B						加藤敬介				
BA2112	日本語2d (留学生対象科目)	A	演習	2	2		後期	井上敬子		○	◎	—
		B						高見研一				
BA3103	日本語3a (留学生対象科目)		演習	2	3	前期		井上敬子		◎	◎	—
BA3104	日本語3b (留学生対象科目)		演習	2	3	前期		伊野波優美		◎	◎	—
BA3105	日本語3c (留学生対象科目)		演習	2	3		後期	井上敬子		○	◎	—
BA3106	日本語3d (留学生対象科目)		演習	2	3		後期	伊野波優美		○	◎	—
BA0101	日本語演習1 (留学生対象科目)		演習	2	1~4	前期		井上敬子		○	◎	—
BA0102	日本語演習2 (留学生対象科目)		演習	2	1~4		後期	井上敬子		○	◎	—
BA2113	ビジネス日本語1 (留学生対象科目)		演習	2	2~4	前期		加藤敬介		◎	◎	○
BA2114	ビジネス日本語2 (留学生対象科目)		演習	2	2~4		後期	加藤敬介		◎	◎	○
BA2115	山梨学 I		演習	2	2	前期		小林一之		◎	○	◎
BA2116	山梨学 II		演習	2	2		後期	小林一之	30	◎	○	◎
BA0301	アジア短期留学I		実習	2	1~4			開講せず		○	◎	◎
BA0302	アジア短期留学II		実習	3	1~4			開講せず		◎	◎	○
BA2301	カナダ中期留学		実習	10	2~3			開講せず		◎	◎	○
BA2302	インターンシップ		実習	2	2~3	集中講義		難波道弘		◎	◎	◎
BA1301	英語圏短期留学 I		実習	2	1~3			開講せず		◎	◎	○
BA2303	英語圏短期留学 II		実習	2	2~3			開講せず		○	◎	◎

領域専門科目(サイコソジカル・サービス)

ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者(案)	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1			
			必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3	
PS1001	心理学概論 I	講義	2		1	前期		梶館尚武		◎	○	—	
PS1002	心理学概論 II	講義		2	1		後期	佐柳信男		◎	○	—	
PS1003	公認心理師の職責	講義		2	1・2	前期		加藤 仁		◎	◎	○	
PS2001	知覚・認知心理学 I	講義		1	2	○		須永範明		◎	—	—	
PS2002	知覚・認知心理学 II	講義		1	2		○	須永範明		◎	—	—	
PS2003	学習・言語心理学 I	講義		1	2		○	梶館尚武		○	○	—	
PS2004	学習・言語心理学 II	講義		1	2			○	梶館尚武		○	○	
PS2005	教育心理学	講義		2	2	前期		梶館尚武		○	○	○	
PS2006	発達心理学	講義		2	2	前期		佐柳信男		◎	○	○	
PS2007	社会・集団・家族心理学 I	講義		1	2		○	須永範明		◎	○	○	
PS2008	社会・集団・家族心理学 II	講義		1	2		○	新居みちる		—	◎	○	
PS2009	臨床心理学概論	講義		2	2	前期		新居みちる		◎	◎	○	
PS2010	感情・人格心理学 I	講義		1	2	○		須永範明		○	○	—	
PS2011	感情・人格心理学 II	講義		1	2			○	石橋 泰		◎	◎	○
PS2012	心理学的支援法 I	講義		2	2		後期	三國牧子		◎	◎	○	
PS2013	福祉心理学	講義		2	2	前期		小林真理子		◎	○	◎	
PS2014	健康・医療心理学	講義		2	2	前期		桑本佳代子		◎	◎	○	
PS2015	人体の構造と機能及び疾病	講義		2	2		後期	青柳閣郎	100	◎	—	—	
								石井佐佐香					
								後藤裕介					
PS2016	心理学統計法	講義		2	2	前期		梶館尚武		○	○	—	
PS2017	心理学研究法	講義		2	2	前期		佐柳信男		◎	◎	◎	
PS2201	心理学実験(2時間連続授業)	A	実験	2	2		後期	加藤 仁	16	◎	◎	◎	
		小田友理恵											
		B						加藤 仁	16				
		小田友理恵											
PS2101	心理学データ分析演習 I	講義・演習		1	2		○	梶館尚武	30	○	○	—	
PS2102	心理学データ分析演習 II	講義・演習		1	2			○	梶館尚武	30	○	○	—
PS3001	心理的アセスメント	講義		2	3	前期		黒田浩司		◎	◎	—	
								村部妙美					
PS3101	心理演習 I (2時間連続授業)	A	演習	2	3	前期		三國牧子	12	◎	◎	○	
		B						小田友理恵	12				
PS3102	心理演習 II (2時間連続授業)	A	演習	2	3	集中講義		黒田浩司	12	◎	◎	◎	
		B						後期	高澤知子				12
PS3103	Psychology in English	演習		2	3		後期	佐柳信男	20	◎	◎	○	
PS2018	神経・生理心理学	講義		2	2	前期		須永範明		◎	—	—	
PS2019	障害者・障害児心理学	講義		2	2		後期	中嶋 彩		◎	◎	○	
PS3002	心理学的支援法 II	講義		2	3		後期	小田友理恵		◎	◎	○	
PS3003	教育・学校心理学	講義		2	3	前期		加藤 仁		○	○	—	
PS3004	司法・犯罪心理学	講義		2	3		後期	西田俊男		○	○	—	
PS3005	産業・組織心理学	講義		2	3	集中講義		高崎真理		○	◎	○	
PS3006	精神疾患とその治療	講義		2	3	集中講義		三好智浩		◎	○	○	
PS3007	関係行政論	講義		2	3		後期	小林真理子		◎	◎	○	
								桶川 隆					
PS3008	コミュニティワーク	講義		2	3	前期		桶川 隆		◎	○	◎	
PS4301	心理実習 I	実習		1	4	集中講義		小林真理子	20	◎	◎	○	
								小田友理恵					
PS4302	心理実習 II	A	実習	2	4	集中講義		加藤 仁	4	◎	◎	◎	
								B	加藤 仁				4
								C	小田友理恵				4
								D	三國牧子				4
								E	小林真理子				4
PS2103	サイコソジカルサービス導入ゼミナール	演習		2	2	前期		新居みちる	20	◎	◎	○	
	梶館尚武												

領域専門科目(グローバル・スタディーズ)														
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者(案)	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1				
			必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3		
GS1001	世界の文化		講義	2		1		後期			井上征剛 山本明歩	◎	○	◎
GS2101	ヨーロッパの社会と文化	A B	演習		2	2		前期			井上 征剛 板井 仁	◎	◎	◎
GS2102	アジアの社会と文化	A B	演習		2	2		後期	10		劉 楠 李 尚珍	◎	◎	○
GS2103	民族と社会 I		講義・演習		2	2		後期			劉 楠	○	○	◎
GS2104	民族と社会 II		講義・演習		2	2		後期			李 尚珍	◎	◎	○
GS2001	宗教と思想		講義		2	2		前期			高 誠	◎	◎	◎
GS2002	英語学概論		講義		2	2		前期			星野真理	◎	◎	◎
GS2003	英語の文法		講義		2	2		後期			星野真理	◎	◎	○
GS2004	英語音声学		講義		2	2		前期		20	Brown	◎	○	—
GS2005	日本語学概論		講義		2	2		前期			木村寛子	◎	◎	—
GS2006	日本語表現論		講義		2	2		後期			木村寛子	◎	◎	—
GS2105	日本語表現演習 (B:留学生クラス)	A B	演習		2	2		後期			木村寛子 伊野波優美	○	◎	—
GS2007	日本の文学		講義		2	2		後期			天野早紀	◎	◎	—
GS2008	日本文学史		講義		2	2		前期			伊野波優美	◎	◎	—
GS2009	日本文化論		講義		2	2		前期			天野早紀	◎	○	○
GS2010	音楽史・音楽学		講義		2	2		前期			井上征剛	◎	—	○
GS2011	舞台芸術論		講義		2	2		前期			井上征剛	◎	○	◎
GS2012	経済学I(オンライン開講)		講義		2	2		前期			吉田 惇	◎	○	—
GS2013	経営学I		講義		2	2		後期			野村 魁	◎	○	—
GS2014	社会学		講義		2	2		前期			田辺 龍	◎	◎	○
GS3001	ジェンダー論		講義		2	3		前期			劉 楠	◎	◎	◎
GS3002	人間と文明		講義		2	3		後期			山本 明歩	◎	○	◎
GS3003	社会言語学		演習		2	2		前期			布村 猛	◎	◎	—
GS3101	Globalization and Culture I		講義・演習		2	3		前期			Brown	◎	○	○
GS3102	Globalization and Culture II		講義・演習		2	3		後期			Brown	◎	○	○
GS3103	Presentations in English		演習		2	3		前期			星野真理	◎	◎	◎
GS3104	Business English		演習		2	3		後期			Sutton	◎	◎	—
GS2015	日本語の文法		講義		2	2		前期			木村寛子	◎	◎	—
GS2016	日本語文法研究		講義		2	2		後期			木村寛子	◎	◎	—
GS2017	日本語の音声		講義		2	2		前期			布村 猛	◎	○	—
GS2018	日本語教育概論		講義		2	2		前期			井上敬子	◎	◎	—
GS2019	日本語教授法1		講義		2	2		後期			三井さや花	○	◎	—
GS3004	現代の日本語		講義		2	3		後期			高見研一	◎	○	—
GS3005	近現代文学論		講義		2	3		後期			伊野波優美	◎	◎	—
GS3105	現代文化論		講義・演習		2	3		後期			足立加勇	◎	◎	—
GS3106	児童文学講読		演習		2	3		後期	30		井上征剛	◎	○	○
GS3107	創作と表現		演習		2	3		後期			中田真弘	◎	◎	—
GS3006	経済学II(オンライン開講)		講義		2	3		後期			吉田 惇	◎	○	—
GS3007	経営学II		講義		2	3		前期			野村 魁	◎	◎	○
GS3009	マーケティング論		講義		2	3					開講せず	◎	○	—
GS3010	国際交流論		講義		2	3		前期			李 尚珍	◎	◎	○
GS3011	国際関係論		講義		2	3		後期			吉田 均	◎	◎	—
GS3108	Global Issues		演習		2	3		前期		15	内田光枝	◎	◎	○
GS3109	Public Speaking and Debating in English		演習		2	3		後期			星野真理	◎	◎	◎
GS3012	日本語教授法2		講義		2	3		前期			三井さや花	◎	◎	—
GS3110	日本語教授法演習(実習含む)		演習		2	3		後期			三井さや花	◎	◎	—
GS3013	現代芸術論		講義		2	3		前期		50	井坂健一郎	◎	◎	—
GS3014	表象文化論		講義		2	3		後期	30		板井 仁	◎	◎	○
GS3015	比較文化・思想論		講義		2	3		前期			井上征剛	◎	◎	○
GS3111	地域研究・実践論		講義・演習		2	3		後期	40		井上征剛	◎	○	—
GS3016	グローバル経済論		講義		2	3					開講せず	◎	○	○
GS3017	グローバル経営論		講義		2	3		後期			今井 久	◎	◎	○
GS2107	グローバルスタディーズ 導入ゼミナール		演習		2	2		前期		20	山本明歩 根木英彦	◎	◎	○

領域専門科目(メディア・サイエンス)													
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者(案)	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1			
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			D1	D2	D3	
MS1001	データサイエンス1	講義	2		1	前期		杉浦篤志		◎	◎	—	
MS1101	データサイエンス2	演習		2	1		後期	杉浦篤志		◎	—	—	
MS1102	プログラミングI	演習		2	1		後期	難波道弘		◎	◎	—	
MS2101	プログラミングII	演習		2	2	前期		難波道弘		◎	—	—	
MS2001	メディアサイエンス概論	講義		2	2	前期		難波道弘		◎	○	○	
								杉浦篤志					
								河本穂馨					
MS2002	ネットワークとセキュリティ	講義		2	2		後期	杉浦篤志		◎	◎	—	
MS2003	情報数理I	講義		2	1	前期		杉浦篤志		◎	◎	—	
MS2004	情報数理II	講義		2	1		後期	野村 魁		◎	◎	—	
MS2102	データアナリティクス I	演習		2	2	前期		杉浦篤志		◎	○	—	
MS2103	データアナリティクスII	演習		2	3			開講せず		◎	◎	—	
MS2005	知的財産権と情報倫理	講義		2	2	前期		河本穂馨		◎	◎	◎	
MS2006	コンピュータシステムI	講義		2	2		後期	難波道弘		◎	○	—	
MS2104	メディアプロジェクトI	演習		2	2	前期		杉浦篤志		◎	◎	—	
MS2007	アルゴリズムとデータ構造I	講義		2	2		後期	難波道弘		◎	○	—	
MS2008	アルゴリズムとデータ構造II	講義		2	3			開講せず		◎	○	—	
MS3001	コンピュータシステムII	講義		2	3	前期		難波道弘		◎	○	—	
MS2010	プロジェクトマネジメント	講義		2	2			開講せず		◎	○	—	
MS3101	ICT English	演習		2	3			開講せず		◎	○	◎	
MS3102	メディアプロジェクトII	演習		2	3			○	難波道弘		◎	◎	○
MS2105	メディア論	講義・演習		2	2				開講せず		◎	◎	○
MS2106	メディアサイエンス特講 I	講義・演習		2	2				開講せず		◎	○	—
MS2107	メディアサイエンス特講 II	講義・演習		2	2		後期	内田奈津子		◎	◎	○	
MS2108	メディアサイエンス導入ゼミナール	演習		2	2		後期	難波道弘		◎	◎	○	
								大井奈美					

領域専門科目(融合領域科目)												
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者(案)	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			D1	D2	D3
IN2001	多文化共生論	講義		2	2	前期		三井さや花 根木英彦		◎	◎	○
IN2101	サービスラーニング	演習		2	2・3		後期	内田奈津子	40	◎	◎	◎
IN3001	芸術と心理療法	講義		2	3・4	前期		石橋 泰		◎	◎	○
								李 尚珍				
								井上征剛				
								新居みちる				
IN3002	意思決定論(オンライン開講)	講義		2	3・4		後期	後藤 晶		◎	◎	○
IN3003	子どもと文化	講義		2	3・4		○	井上征剛		◎	—	◎
								森 稚葉				
IN3004	高齢者の心理と健康	講義・演習		2	3・4			開講せず		◎	◎	◎
IN3101	サービス・サイエンスとCCRC	演習		2	3・4		後期	和田典子		◎	○	—
								佐藤文昭				
								宇佐美 淳				
IN3102	地域課題研究	演習		2	3・4	前期		井上征剛		◎	◎	◎
								佐藤文昭				
IN3103	子育て支援実践演習	演習		1	3・4			開講せず		◎	◎	◎

領域専門科目(ゼミ)												
ナンバリング コード	科目名	区分	単位数		履修 年次	期間		担当者(案)	人数 制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3
PS3104	サイコジカルサービス 専門ゼミナール1	A	演習	2	3	前期		新居みちる		◎	◎	○
		B										
		C										
		D										
		E										
		F										
		G										
		H										
PS3105	サイコジカルサービス 専門ゼミナール2	A	演習	2	3	後期		新居みちる		◎	◎	○
		B										
		C										
		D										
		E										
		F										
		G										
		H										
GS3112	グローバルスタディーズ 専門ゼミナール1	A	演習	2	3	前期		天野早紀		◎	◎	○
		B										
		C										
		D										
		E										
		F										
		G										
		H										
		I										
		J										
		K										
		L										
GS3113	グローバルスタディーズ 専門ゼミナール2	A	演習	2	3	前期		天野早紀		◎	◎	○
		B										
		C										
		D										
		E										
		F										
		G										
		H										
		I										
		J										
		K										
		L										
MS3103	メディアサイエンス 専門ゼミナール1	A	演習	2	3	前期		河本稔馨		◎	◎	○
		B										
		C										
MS3104	メディアサイエンス 専門ゼミナール2	A	演習	2	3	後期		河本稔馨		◎	◎	○
		B										
		C										

領域専門科目(ゼミ)												
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者(案)	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3
SE4101	卒業プロジェクト研究1	A	演習	4	4	前期		新居みちる		◎	◎	○
		B										
		C										
		D										
		E										
		F										
		G										
		H										
		I										
		J										
		K										
		L										
		M										
		N										
		O										
		P										
		Q										
		R										
		S										
SE4102	卒業プロジェクト研究2	A	演習	4	4	後期		新居みちる		◎	◎	○
		B										
		C										
		D										
		E										
		F										
		G										
		H										
		I										
		J										
		K										
		L										
		M										
		N										
		O										
		P										
		Q										
		R										
		S										

オープン科目												
ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者(案)	人数制限	ポリシーと授業の関連 ※1		
			必修	選択		前期 1Q-2Q	後期 3Q-4Q			D1	D2	D3
OP1001	聖書学	講義		2	1・2		後期	高 誠		○	◎	○
OP3001	日本文学講読 I	講義		2	3・4		前期	天野早紀		◎	◎	—
OP3002	日本文学講読 II	講義		2	3・4		後期	小林一之		◎	○	○
OP2001	英米文学史(オンライン開講)	講義		2	2・3		後期	佐取愛香		◎	◎	○
OP2002	英米文学講読(オンライン開講)	講義		2	2・3		後期	佐取愛香		◎	◎	○
OP2003	まんが論	講義		2	2・3		前期	高見研一		◎	◎	—
OP3003	情報と職業	講義		2	3・4		後期	和田典子		◎	○	—
OP1002	美術の表現	講義		2	1・2		前期	李 尚珍		◎	◎	○
OP1101	造形と制作	演習		2	1・2		後期	井坂健一郎	20	○	○	—
OP2101	演技と発声	演習		2	2・3		後期	中田真弘	24	○	◎	—
OP1003	健康スポーツ論	講義		2	1		前期	木内政孝		◎	—	—
OP1401	スポーツ実技	実技		1	1		後期	金澤翔一	16	○	◎	—
OP1004	日本国憲法	講義		2	1		前期	山内幸雄		◎	◎	—
OP3004	漢文学	講義		2	3・4		前期	遠藤秀紀	20	◎	○	—
OP2102	書道	演習		2	2・3			開講せず		◎	○	—
OP0101	英会話 I	演習		2	1~4		前期	Sutton	20	○	◎	○
OP0102	英会話 II	演習		2	1~4		後期	Sutton	20	○	◎	○
OP2103	文化観光の英語	演習		2	2		後期	Granier		○	◎	—
OP0103	山梨の地場産業	講義・演習		2	1~4		前期	今井 久		◎	◎	○
OP0104	縄文文化と山梨	講義・演習		1	1~4			○ 長澤宏昌	20	◎	○	—
OP0105	地域づくりの理論と実践	講義・演習		1	1~4			開講せず		◎	○	—
OP2104	ローカルツーリズム論	講義・演習		2	2~4			開講せず		◎	◎	○
OP1102	外国語特別演習	講義・演習		2	1		前期	根木英彦		○	◎	◎
OP0106	特別講義 I	講義・演習		1	1~4		○	塚本俊也		○	○	—
OP0107	特別講義 II	講義・演習		2	1~4		後期	李 尚珍 天野早紀		○	○	—
OP0001	数学の基礎	講義		2	1~4		前期	杉浦篤志		◎	—	—
OP0002	社会学の基礎	講義		2	1~4		後期	田辺 龍		◎	◎	○
OP2005	生涯学習概論	講義		2	2		前期	大井奈美		◎	◎	○
OP1005	図書館サービス概論	講義		2	1		後期	河本穂馨		◎	◎	◎

2026年度公認心理師課程プログラム科目一覧表

対象学生:2026年度4年生

公認心理師課程プログラムに関する科目					
公認心理師法施行規則(平成29年 文部科学省・厚生労働省令第3号) に定める科目	本学開講科目	区分	単位数 (必修)	履修年次	備考
1. 公認心理師の職責	公認心理師の職責	講義	2	1・2	前掲
2. 心理学概論	心理学概論Ⅰ	講義	2	1	前掲
	心理学概論Ⅱ	講義	2	1	前掲
3. 臨床心理学概論	臨床心理学概論	講義	2	2	前掲
4. 心理学研究法	心理学研究法	講義	2	2	前掲
5. 心理学統計法	心理学統計法	講義	2	2	前掲
6. 心理学実験	心理学実験	実験	2	2	前掲
7. 知覚・認知心理学	知覚・認知心理学Ⅰ	講義	1	2	前掲
	知覚・認知心理学Ⅱ	講義	1	2	前掲
8. 学習・言語心理学	学習・言語心理学Ⅰ	講義	1	2	前掲
	学習・言語心理学Ⅱ	講義	1	2	前掲
9. 感情・人格心理学	感情・人格心理学Ⅰ	講義	1	2	前掲
	感情・人格心理学Ⅱ	講義	1	2	前掲
10. 神経・生理心理学	神経・生理心理学	講義	2	2	前掲
11. 社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学Ⅰ	講義	1	2	前掲
	社会・集団・家族心理学Ⅱ	講義	1	2	前掲
12. 発達心理学	発達心理学	講義	2	2	前掲
13. 障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	講義	2	2	前掲
14. 心理的アセスメント	心理的アセスメント	講義	2	3	前掲
15. 心理学的支援法	心理学的支援法Ⅰ	講義	2	2	前掲
	心理学的支援法Ⅱ	講義	2	3	前掲
16. 健康・医療心理学	健康・医療心理学	講義	2	2	前掲
17. 福祉心理学	福祉心理学	講義	2	2	前掲
18. 教育・学校心理学	教育・学校心理学	講義	2	3	前掲
19. 司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	講義	2	3	前掲
20. 産業・組織心理学	産業・組織心理学	講義	2	3	前掲
21. 人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	講義	2	2	前掲
22. 精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	講義	2	3	前掲
23. 関係行政論	関係行政論	講義	2	3	前掲
24. 心理演習	心理演習Ⅰ	演習	2	3	前掲
	心理演習Ⅱ	演習	2	3	前掲
25. 心理実習(80時間以上)	心理実習Ⅰ	実習	1	4	前掲
	心理実習Ⅱ	実習	2	4	前掲

修了要件単位数:57単位

2026年度司書課程プログラム科目一覧表

対象学生：2026年度4年生

※留学生は司書課程の受講はできません

(※1)3つのポリシー(D1, D2, D3)と授業の関連性を以下の3つの記号で表記しています。
◎：深く関連している、○：関連している、
—：◎や○と比較すると関連は弱い

司書課程プログラムに関する科目

	ナンバリングコード	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者(案)	備考	ポリシーと授業の関連 ※1		
				必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			D1	D2	D3
必修科目	OP2005	生涯学習概論	講義	2		2	前期		大井奈美		◎	◎	○
	OP1005	図書館概論	講義	2		2	前期		河本穂馨		◎	◎	◎
	QL3001	図書館制度・経営論	講義	2		3	集中講義		根本 彰	卒業要件対象外	◎	○	—
	QL3002	図書館情報技術論	講義	2		3		後期	河本穂馨	卒業要件対象外	◎	◎	○
	QL2001	図書館サービス概論	講義	2		1		後期	河本穂馨	卒業要件対象外	○	○	○
	QL2002	情報サービス論	講義	2		2		後期	河本穂馨	卒業要件対象外	○	○	○
	QL3003	児童サービス論	講義	2		3	集中講義		伊藤明美	卒業要件対象外	○	○	○
	QL3101	情報サービス演習Ⅰ	演習	1		3	前期		日向良和	卒業要件対象外	○	○	○
	QL3102	情報サービス演習Ⅱ	演習	1		3		後期	玉木圭子	卒業要件対象外	○	○	○
	QL2003	図書館情報資源概論	講義	2		2		後期	日向良和	卒業要件対象外	○	○	○
	QL2004	情報資源組織論	講義	2		2	前期		玉木圭子	卒業要件対象外	◎	○	—
	QL3103	情報資源組織演習Ⅰ	演習	1		3	前期		玉木圭子	卒業要件対象外	◎	○	—
QL3104	情報資源組織演習Ⅱ	演習	1		3		後期	玉木圭子	卒業要件対象外	◎	○	—	
選択科目	QL3004	図書館基礎特論	講義		1	3	○		河本穂馨	選択必修 2科目2単位選択 卒業要件対象外	◎	○	○
	QL3005	図書館サービス特論	講義		1	3		○	河本穂馨		◎	○	○
	QL3006	図書館情報資源特論	講義		1	3		○	河本穂馨		◎	○	◎
	QL3007	図書・図書館史(オンライン開講)	講義		1	3		○	河村俊太郎		○	○	○

修了要件単位数：24単位

2026年度英語強化プログラム科目一覧表

対象学生:2026年度4年生

英語強化プログラムに関する科目										
科目名	区分	単位数		履修年次	期間				担当者	備考
		必修	選択		前期 1Q・2Q		後期 3Q・4Q			
英語1a		演習	2		1					前掲
英語1b		演習	2		1					前掲
英語1c		演習	2		1					前掲
英語1d		演習	2		1					前掲
英語2a		演習	2		2					前掲
英語2b		演習	2		2					前掲
英語2c		演習	2		2					前掲
英語2d		演習	2		2					前掲
英語3a		演習	2		3・4					前掲
英語3b		演習	2		3・4					前掲
英語4a		演習	2		4					前掲
英語4b		演習	2		4					前掲
英会話Ⅰ		演習	2		1～4					前掲
英会話Ⅱ		演習	2		1～4					前掲
文化観光の英語		演習		2	2					前掲

※カナダ中期留学の単位取得者は留学に参加する学年に応じて以下のとおりプログラムの必修科目を免除する。

2年生:英語2a・英語2b

3年生:英語3a

4年生:英語4a

※オーストラリア長期留学での単位取得者は英語2a・英語2b・英語2c・英語2dを免除

※本プログラムの修了は別途定めるTOEICスコアの取得が必要

※2年次転入生、3年次編転入生が本プログラムの履修を希望する場合は、1年次必修科目(英語1a～英語1d)を免除する。(必修科目「英語1a～英語1d」を履修したものとみなし、合計修了要件は20単位とする。)

修了要件単位数:28単位

2026年度データサイエンスプログラム科目一覧表

対象学生：2026年度4年生

データサイエンスプログラムに関する科目										
科目名	区分	単位数		履修年次	期間				担当者	備考
		必修	選択		前期 1Q・2Q		後期 3Q・4Q			
ICTスキル1	演習	2		1					前掲	
ICTスキル2	演習	2		1					前掲	
データサイエンス1	講義	2		1					前掲	
データサイエンス2	演習	2		1					前掲	
プログラミングI	演習		2	1					前掲	
プログラミングII	演習		2	2					前掲	
メディアサイエンス概論	講義	2		2					前掲	
データアナリティクスI	演習		2	2					前掲	
データアナリティクスII	演習		2	2					開講せず	
情報数理I	講義		2	2					前掲	
情報数理II	講義		2	2					前掲	
アルゴリズムとデータ構造I	講義		2	2					前掲	
アルゴリズムとデータ構造II	講義		2	2					開講せず	
心理学統計法	講義		2	2					前掲	
心理学データ分析演習I	講義・演習		1	2					前掲	
心理学データ分析演習II	講義・演習		1	2					前掲	

修了要件単位数：14単位

2026年度日本語教師養成プログラム科目一覧表

対象学生：2026年度4年生

日本語教師養成課程に関する科目										
	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	備考	
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			
言語と教育	日本語教育概論	講義	2		2				前掲	8単位以上
	日本語教授法1	講義	2		2				前掲	
	日本語教授法2	講義	2		3				前掲	
	日本語教授法演習(実習含む)	演習	2		3				前掲	
言語一般	日本語学概論	講義	2		2				前掲	8単位以上
	日本語文法研究	講義	2		2				前掲	
	日本語の音声	講義	2		2				前掲	
	日本語表現論	演習		2	2				前掲	
	日本語表現演習	講義		2	2				前掲	
	現代の日本語	講義		2	3				前掲	
	日本語の文法	講義		2	2				前掲	
言語と心理	知覚・認知心理学Ⅰ	講義		1	2				前掲	2単位以上
	知覚・認知心理学Ⅱ	講義		1	2				前掲	
	学習・言語心理学Ⅰ	講義		1	2				前掲	
	学習・言語心理学Ⅱ	講義	1		2				前掲	
	教育心理学	講義		2	2				前掲	
言語と社会	社会言語学	演習	2		2				前掲	4単位以上
	多文化共生論	講義		2	2				前掲	
	Globalization and Culture I	講義		2	3				前掲	
	Globalization and Culture II	講義		2	3				前掲	
	民族と社会Ⅰ	講義		2	2				前掲	
	民族と社会Ⅱ	講義		2	2				前掲	
社会・文化・地域	国際関係論	講義		2	3				前掲	4単位以上
	国際交流論	講義		2	3				前掲	
	日本文化論	講義		2	2				前掲	
	比較文化・思想論	講義		2	3				前掲	

科目区分ごとの必要単位数を満たし、さらに合計26単位以上を修得すること。

修了要件単位数：26単位

2026年度山梨地域コーディネーター養成プログラム科目一覧表

対象学生：2026年度4年生

※3年次編転入生が本プログラムの履修を希望する場合は、2年次必修科目（山梨学Ⅰ）を免除する。

山梨地域コーディネーター養成プログラムに関する科目										
	科目名	区分	単位数		履修年次	期間		担当者	備考	
			必修	選択		前期 1Q・2Q	後期 3Q・4Q			
地域教養科目	山梨学Ⅰ	演習	2		2				前掲	6単位以上
	山梨学Ⅱ	演習	2		2				前掲	
	サービスラーニング	演習	2		2・3				前掲	
	心理学概論Ⅱ	講義		2	1				前掲	
	メディアサイエンス概論	講義		2	2				前掲	
	縄文文化と山梨	講義・演習		1	1～4				前掲	
	地域づくりの理論と実践	講義・演習		1	1～4				開講せず	
専門基礎科目	文化観光の英語	演習		2	2				前掲	6単位以上
	ローカルツーリズム論	講義・演習		2	2～4				開講せず	
	山梨の地場産業	講義・演習		2	1～4				前掲	
	発達心理学	講義		2	2				前掲	
	心理学的支援法Ⅰ	講義		2	2				前掲	
	障害者・障害児心理学	講義		2	2				前掲	
	高齢者の心理と健康	講義		2	3・4				前掲	
	社会学	講義		2	2				前掲	
	経営学Ⅰ	講義		2	2				前掲	
	経営学Ⅱ	講義		2	3				前掲	
	経済学Ⅰ	講義		2	2				前掲	
	経済学Ⅱ	講義		2	3				前掲	
	マーケティング論	講義		2	3				開講せず	
専門発展科目	サービスサイエンスとCCRC	演習		2	3・4				前掲	4単位以上
	地域課題研究	演習		2	3・4				前掲	
	インターンシップ	実習		2	2・3				前掲	

科目区分ごとの必要単位数を満たし、さらに合計20単位以上を修得すること。

※3年次編転入生が本プログラムの履修を希望する場合は、2年次必修科目（山梨学Ⅰ）を免除する。（必修科目「山梨学Ⅰ」を履修したものとみなし、合計修了要件は18単位とする。）

※次のコンソーシアム科目については学則30条の規程により取得した単位を「専門発展科目」として必要単位数に加えることができる。

・フューチャーサーチ(2単位) ※2025年度まで開講

修了要件単位数：20単位

履修登録上限対象外科目一覧表

卒業要件に含まれるもの ※登録上限単位には含まず、卒業要件となる科目			
科目名	単位数		履修年次
	必修	選択	
アジア短期留学Ⅰ		2	1～4
アジア短期留学Ⅱ		3	1～4
インターンシップ		2	2・3
英語圏短期留学Ⅰ		2	1～3
英語圏短期留学Ⅱ		2	2・3

卒業要件に含まれないもの ※登録上限単位には含まず、資格要件のみとなる科目			
科目名	単位数		履修年次
	必修	選択	
図書館制度・経営論	2		3
図書館情報技術論	2		3
図書館サービス概論	2		2
情報サービス論	2		2
児童サービス論	2		3
情報サービス演習Ⅰ	1		3
情報サービス演習Ⅱ	1		3
図書館情報資源概論	2		2
情報資源組織論	2		2
情報資源組織演習Ⅰ	1		3
情報資源組織演習Ⅱ	1		3
図書館基礎特論		1	3
図書館サービス特論		1	3
図書館情報資源特論		1	3
図書・図書館史		1	3

必修科目一覧表

○は必修科目として履修する科目

区分	科目名	履修年次	単位数	1年次入学生	2年次転入生	3年次編入生
基礎科目	キリスト教概論1	1	2	○	○	
	キリスト教概論2 *2~4年次	2~4	2	○	○	
	人間文化学	1	2	○		
	基礎ゼミナール1	1	2	○		
	基礎ゼミナール2	1	2	○		
	ICTスキル1	1	2	○		
	ICTスキル2	1	2	○		
	英語1a ※留学生は「日本語1a」を履修	1	2	○		
	英語1b ※留学生は「日本語1b」を履修	1	2	○		
	英語1c ※留学生は「日本語1c」を履修	1	2	○		
	英語1d ※留学生は「日本語1d」を履修	1	2	○		
	日本語スキル1	1	2	○		
	日本語スキル2	1	2	○		
	山梨学 I	2	2	○	○	
小計単位数	—	28	28	6	—	
領域専門科目	心理学概論 I	1	2	○	○	
	世界の文化	1	2	○	○	
	データサイエンス1	1	2	○	○	
	小計単位数	—	6	6	6	—
ゼミ	サイコロジカルサービス専門ゼミナール1	3	2	選択必修 6単位以上	選択必修 6単位以上	選択必修 6単位以上
	サイコロジカルサービス専門ゼミナール2	3	2			
	グローバルスタディーズ専門ゼミナール1	3	2			
	グローバルスタディーズ専門ゼミナール2	3	2			
	メディアサイエンス専門ゼミナール1	3	2			
	メディアサイエンス専門ゼミナール2	3	2			
	卒業プロジェクト研究1	4	4			
	卒業プロジェクト研究2	4	4			
小計単位数	—	6				
必修合計単位数			40	40	18	6

公認心理師履修モデル

関心・目標：心理学に関する専門的知識及び技術を学び、心理に関する支援の知識や専門技法を習得する。

関連の深い専門プログラム：公認心理師課程プログラム

将来像：大学院に進学して臨床心理士・公認心理師の資格を目指すほか、教育・福祉・行政・一般企業での心理学を活かした仕事への就職も目指せます。

履修の考え方：公認心理師（国家資格）を取得するために、学部で指定された科目を中心に履修を進めます。心理学の基本的な理論や研究方法を学んだ上で、公認心理師に必要とされる医療・教育・福祉・司法・産業などの領域において、心理学的な支援の理論と実践方法を学びます。

科目区分	1年		2年		3年		4年	
基礎科目	キリスト教概論1	2	キリスト教概論2	2				
	人間文化学	2	山梨学I	2				
	基礎ゼミナール1	2	英語2a	2				
	基礎ゼミナール2	2	英語2b	2				
	ICTスキル1	2	英語2c	2				
	ICTスキル2	2	英語2d	2				
	英語1a	2						
	英語1b	2						
	英語1c	2						
	英語1d	2						
	日本語スキル1	2						
	日本語スキル2	2						
領域科目	心理学概論I	2	公認心理師の職責	2	健康・医療心理学	2	心理実習 I	1
	世界の文化	2	知覚・認知心理学 I	1	人体の構造と機能及び疾病	2	心理実習 II	2
	データサイエンスI	2	知覚・認知心理学 I	1	神経・生理心理学	2	ジェンダー論	2
	心理学概論 II	2	学習・言語心理学 I	1	心理的アセスメント	2		
			学習・言語心理学 II	1	心理演習 I	2		
			教育心理学	2	心理演習 II	2		
			発達心理学	2	Psychology in English	2		
			社会・集団・家族心理学 I	1	心理学的支援法 II	2		
			社会・集団・家族心理学 II	1	教育・学校心理学	2		
			臨床心理学概論	2	司法・犯罪心理学	2		
			感情・人格心理学 I	1	産業・組織心理学	2		
			感情・人格心理学 II	1	精神疾患とその治療	2		
			心理学的支援法 I	2	関係行政論	2		
			福祉心理学	2	コミュニティワーク	2		
			心理学統計法	2				
			心理学研究法	2				
			心理学実験	2				
			心理学データ分析演習 I	1				
			心理学データ分析演習 II	1				
			障害者・障害児心理学	2				
融合科目					芸術と心理療法	2	子どもと文化	2
ゼミ					サイコソシアリティサービス専門ゼミナール1	2	卒業プロジェクト研究1	4
					サイコソシアリティサービス専門ゼミナール2	2	卒業プロジェクト研究2	4
オープン科目								
合計		32		42		34		15
履修上限単位数（標準）		40		40		40		40

123

英語強化履修モデル

関心・目標： 包括的な国際感覚の涵養と実践的英語力の進展を目指します。

関連の深い専門プログラム：英語強化プログラム

将来像： 実践的な英語運用能力と国際的視野を身につけることを目指します。たしかに国際感覚に裏打ちされたコミュニケーション能力を身につけると、英語論文を読む力を習得すること、英語圏の文化に深く親しむこと、外資系企業を含む一般企業などで多文化共生時代に世界で幅広く活躍するために必要となる総合的な英語運用能力を身につけることなどが目標となります。

履修の考え方： 英語選択科目を基軸に、国際感覚、文化多様性、英語圏文化・文学、文明史・文化史などを多面的に学べる科目群を履修します。同時に、ドイツ語、フランス語、韓国語、中国語など、第2外国語の習得も推奨します。

科目区分	1年		2年		3年		4年	
基礎科目	キリスト教概論1	2	キリスト教概論2	2	英語3a	2	英語4a	2
	人間文化学	2	山梨学I	2	英語3b	2	英語4b	2
	基礎ゼミナール1	2	英語2a	2				
	基礎ゼミナール2	2	英語2b	2				
	ICTスキル1	2	英語2c	2				
	ICTスキル2	2	英語2d	2				
	英語1a	2	ドイツ語1**	2				
	英語1b	2	ドイツ語2**	2				
	英語1c	2						
	英語1d	2						
	日本語スキル1	2						
	日本語スキル2	2						
	英語圏短期留学 I *	2						
領域科目	心理学概論I	2	英語の文法	2	Globalization and Culture I	2		
	世界の文化	2	英語音声学	2	Globalization and Culture II	2		
	データサイエンスI	2			Presentations in English	2		
					Public Speaking and Debating in English	2		
					Business English	2		
					比較文化・思想論	2		
					人間と文明	2		
					ヨーロッパの社会と文化A**	2		
融合科目			多文化共生論	2				
ゼミ					グローバルスタディーズ専門ゼミナール1	2	卒業プロジェクト研究1	4
					グローバルスタディーズ専門ゼミナール2	2	卒業プロジェクト研究2	4
オープン科目			英会話 I	2				
			英会話 II	2				
			文化観光の英語	2				
			英米文学史	2				
			英米文学購読	2				
合計		32		32		24		12
履修上限単位数 (標準)		40		40		40		40

*短期留学は開講されない可能性があります。

**ドイツ語以外の言語でも構いませんが、第二外国語の習得をお勧めします。

ICT履修モデル

関心・目標： ICTに関わる知識や技術を習得し、高度なICT活用能力を身につけたい。

関連の深い専門プログラム： データサイエンスプログラム

将来像： プログラマ、WebデザイナーなどICTを専門とする職業のほか、一般企業への就職も目指せます

履修の考え方： メディアサイエンス領域のICT関連科目を中心に、自身の興味・関心に合わせて他の区分の科目も履修します

科目区分	1年		2年		3年		4年	
基礎科目	キリスト教概論1	2	キリスト教概論2	2	インターンシップ	2		
	人間文化学	2	山梨学I	2				
	基礎ゼミナール1	2						
	基礎ゼミナール2	2						
	ICTスキル1	2						
	ICTスキル2	2						
	英語1a	2						
	英語1b	2						
	英語1c	2						
	英語1d	2						
	日本語スキル1	2						
	日本語スキル2	2						
領域科目	心理学概論I	2	プログラミングII	2	データアナリティクスII	2		
	世界の文化	2	メディアサイエンス概論	2	アルゴリズムとデータ構造II	2		
	データサイエンス1	2	ネットワークとセキュリティ	2	コンピュータシステムII	2		
	データサイエンス2	2	情報数理I	2	ICT English	2		
	プログラミングI	2	情報数理II	2	メディアプロジェクトII	2		
			データアナリティクスI	2	メディア論	2		
			知的財産権と情報倫理	2	メディアサイエンス特講II	2		
			コンピュータシステムI	2				
			メディアプロジェクトI	2				
			アルゴリズムとデータ構造I	2				
			プロジェクトマネジメント	2				
			メディアサイエンス特講I	2				
			心理学統計法	2				
			心理学データ分析演習I	2				
			心理学データ分析演習II	2				
	融合科目					意思決定論	2	
ゼミ					メディアサイエンス専門ゼミナール1	2	卒業プロジェクト研究1	4
					メディアサイエンス専門ゼミナール2	2	卒業プロジェクト研究2	4
オープン科目	数学の基礎	2			情報と職業	2		
合計		36		34		24		8
履修上限単位数(標準)		40		40		40		40

地域コーディネーター履修モデル

関心・目標： 地域の活性化や課題解決に関心があり、そのための知識や技法を体験的に習得する。

関連の深い専門プログラム： 山梨地域コーディネーター養成プログラム

将来像： 地域貢献型の企業、社会福祉関連の企業のほか、一般企業への就職も目指せます

履修の考え方： 地域の実状を学ぶ科目や課題解決に関連する科目を中心に、自身の興味・関心に合わせて他の区分の科目も履修します

科目区分	1年		2年		3年		4年	
基礎科目	キリスト教概論Ⅰ	2	キリスト教概論Ⅱ	2	インターンシップ	2		
	人間文化学	2	山梨学Ⅰ	2				
	基礎ゼミナールⅠ	2	山梨学Ⅱ	2				
	基礎ゼミナールⅡ	2						
	ICTスキルⅠ	2						
	ICTスキルⅡ	2						
	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅰc	2						
	英語Ⅰd	2						
	日本語スキルⅠ	2						
	日本語スキルⅡ	2						
領域科目	心理学概論Ⅰ	2	発達心理学	2	経済学Ⅱ	2		
	世界の文化	2	心理学的支援法Ⅰ	2	経営学Ⅱ	2		
	データサイエンスⅠ	2	障害者・障害児の心理学	2	マーケティング論	2		
	心理学概論Ⅱ	2	社会学	2	プロジェクトマネジメント	2		
			経営学Ⅰ	2				
			経済学Ⅰ	2				
			メディアサイエンス概論	2				
融合科目			サービスラーニング	2	高齢者の心理と健康	2	子育て支援実践演習	1
					サービスサイエンスとCCRC	2		
					地域課題研究	2		
ゼミ					専門ゼミナールⅠ	2	卒業プロジェクト研究Ⅰ	4
					専門ゼミナールⅡ	2	卒業プロジェクト研究Ⅱ	4
オープン科目	縄文文化と山梨	1	文化観光の英語	2	生涯学習概論	2		
	地域づくりの理論と実践	1	ローカルツーリズム論	2				
	社会学の基礎	1						
合計		35		26		22		9
履修上限単位数(標準)		40		40		40		40

92

登録日本語教員養成プログラム 履修モデル (2026年度入学 学部1年生対象)

関心・目標：日本語や国際交流に関心があり、日本語教員に興味をもっている。文化的多様性・社会性に対する態度を養うことを目標とする。

関連の深い専門プログラム：登録日本語教員養成プログラム

将来像：日本語教員も選択肢のひとつとして考えているが、広く日本語表現や日本文化、地域の国際化を知って共生社会に貢献したい

履修の考え方：「登録日本語教員養成プログラム」のうち、「日本語教員養成課程」のコア科目（日本語教育概論、日本語教授法1、日本語教授法2、日本語学概論、学習・言語心理学Ⅱ、教育心理学、社会言語学、多文化共生論）を優先して履修し、「日本語教員実践研修」の科目の履修に進む。その他の科目は、「登録日本語教員養成プログラム科目一覧表（全必修）」を参照しながら、合計30単位以上を修得し、幅広く様々な関連科目を選択履修するモデルコース。

科目区分	1年		2年		3年		4年	
基礎科目	キリスト教概論1	2	キリスト教概論2	2				
	人間文化学	2	山梨学I	2				
	基礎ゼミナール1	2						
	基礎ゼミナール2	2						
	ICTスキル1	2						
	ICTスキル2	2						
	英語1a	2						
	英語1b	2						
	英語1c	2						
	英語1d	2						
	日本語スキル1	2						
	日本語スキル2	2						
領域科目	心理学概論I	2	学習・言語心理学 I	1	教育心理学	2		
	世界の文化	2	学習・言語心理学Ⅱ	1	日本語教授法2	2		
	データサイエンスI	2	日本語教育概論	2	日本語教授法演習	2		
			日本語教授法1	2	日本語表現演習	2		
			日本語学概論	2	日本語教育実習	1		
			日本語の文法	2	現代の日本語	2		
			日本語文法研究	2	国際交流論	2		
			日本語の音声	2	国際関係論	2		
			社会言語学	2	比較文化・思想論	2		
			日本の文学	2	現代文化論	2		
			社会学	2	日本語表現論	2		
			知的財産と情報倫理	2	日本文化論	2		
	融合科目			多文化共生論	2			
ゼミ					グローバルスタディーズ専門ゼミナール1	2	卒業プロジェクト研究1	4
					グローバルスタディーズ専門ゼミナール2	2	卒業プロジェクト研究2	4
オープン科目					まんが論	2	日本文学講読 I	2
					英会話 I	2	日本文学講読 II	2
					英会話 II	2		
合計		30		28		33		12
履修上限単位数（標準）		40		40		40		40

103

履修マニュアル 2026

■発行

山梨英和大学 教務部
山梨県甲府市横根町888
電話 055-223-6027

■印刷

株式会社サンニチ印刷
山梨県甲府市宮原町608-1
電話 055-241-1111

